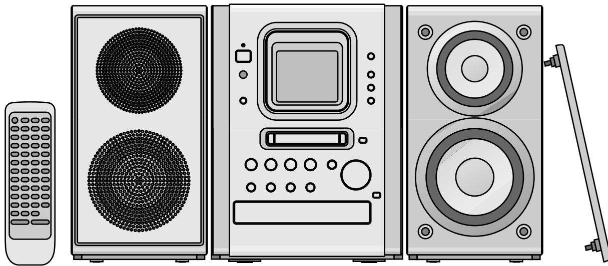
Panasonic®



MD ステレオシステム

取扱説明書

品番　**SC-PM35MD**

上手に使って上手に節電

保証書別添付



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

このたびは、MD ステレオシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

RQT5597-S



もくじ

まず
確認と準備

すぐ
使いたいとき

もっと
使いこなしたいとき

もし
必要なとき

ご使用前に
使いかた
必要なとき

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です）

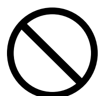
	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 警告

電源コードについて

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

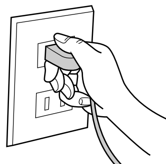
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。



- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む





- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

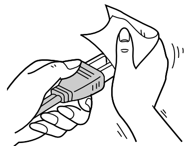


ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

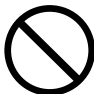
電源プラグのほこり等は定期的にとる

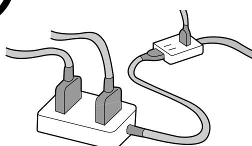




- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
  電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない





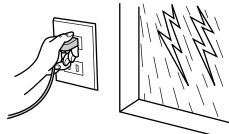
- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない



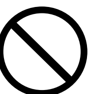
接触禁止



- 感電の恐れがあります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない



- ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

ご使用について

分解、改造したりしない



分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

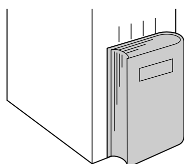
- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

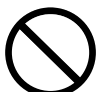
放熱を妨げない





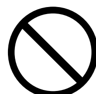
- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない



- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない



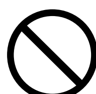
- 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

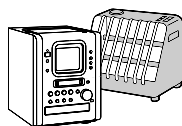
不安定な場所に設置しない



- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **スピーカーを壁や天井に取り付けない**
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない





- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

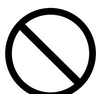
スピーカーは付属のものを接続する



- 付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

CD トレイの挿入口の奥に手を入れない



指に注意

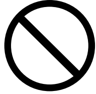
- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

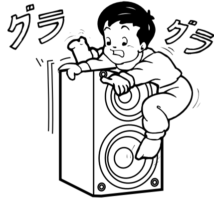
安全上のご注意

⚠注意

ご使用について

機器に乗らない

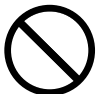


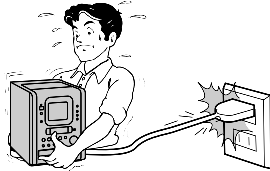


- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない





- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

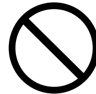
電池について

電池は正しく取り扱う



- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

電池は誤った使い方をしない



- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

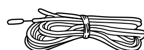
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

付属品の確認

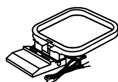


接続の前に、まず付属品を確かめてください。

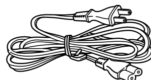
□ FM 簡易型アンテナ･･････････････1 本
（品番 RSA0006-J）



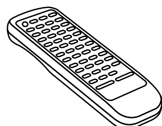
□ AM ループアンテナ ･････････････1 本
（品番 RSA0033A）



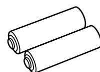
□ 電源コード ･････････････････････1 本
（品番 RJA0059-J）



□ リモコン ･･･････････････････････1 本
（品番 RAK-SC972WK）



□ リモコン用単 3 形乾電池･････････2 本

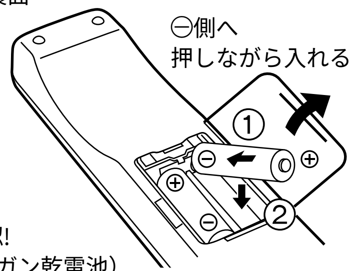


お願い

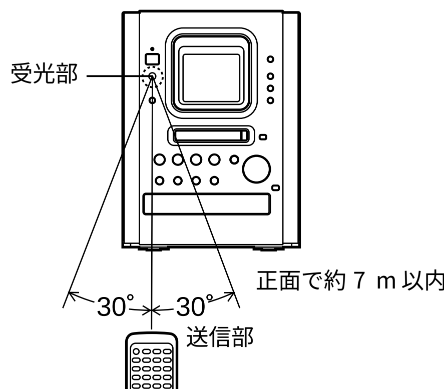
- 電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- 付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
  カッコ（　　）内は、買い替え時の品番を表します。

リモコンの準備

乾電池（付属）の入れかた



リモコンの使いかた



■使用上のお願い

- 受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受光部と送信部のほこりに注意。

■送信部はふさがない

手に持ったとき、指で送信部をふさがない。

■故障防止のために

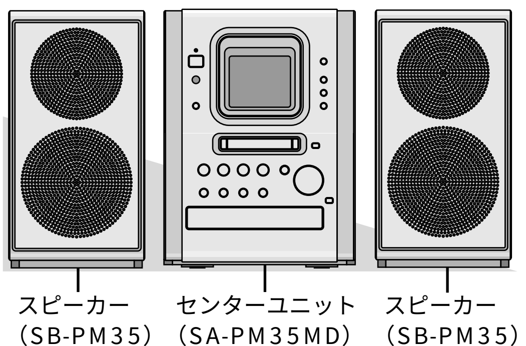
- 分解、改造しない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなど、液状のものをこぼさない。

■本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

設置

スピーカーは、右・左とも、同じ形です。
どちらに置いてもかまいません。



お願い

- **付属のスピーカー以外はご使用になれません。** 本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の演奏音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。
- **⊕と⊖をショートさせないでください。** 故障の原因になります。
- **本機のスピーカーは防磁設計ではありません。** テレビやパソコンなどの近くに置かないでください。
- 本体とスピーカーは放熱効果維持のため、10 mm以上離してください。

よい音で聞くために

- 本スピーカーは、スーパーウーハーの音が後方からも出ます。後方の壁などから 5 cm 以上離して設置してください。
- 本スピーカーはしっかりとした固い台の上などに置くと、低音がよく出ます。

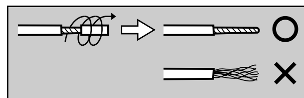
長期間使用しないときは

節電のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。
ただし、再使用時には、放送局の設定など各種メモリーの再設定が必要です。
本機の各種メモリー（時計をのぞく）は、電源コードを抜いた状態で、約 1 週間保持されます。

接続

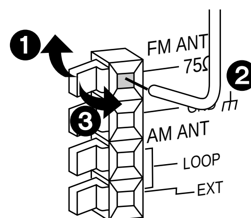
準備：

FM 簡易型アンテナ、AM ループアンテナ、スピーカーコードの先端のビニール部分は、ねじりながら抜き取ります。



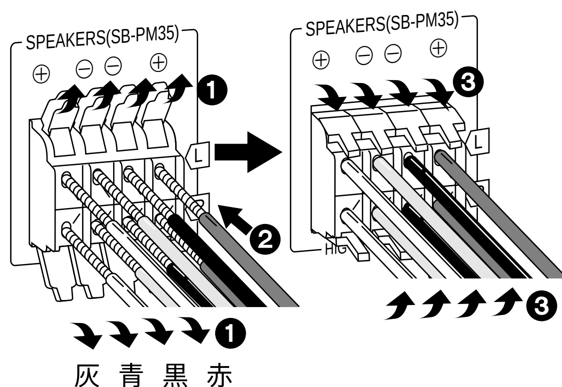
❶ FM 簡易型アンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみて（➪19 ページ）、雑音の少ない位置で、壁や柱に止めます。



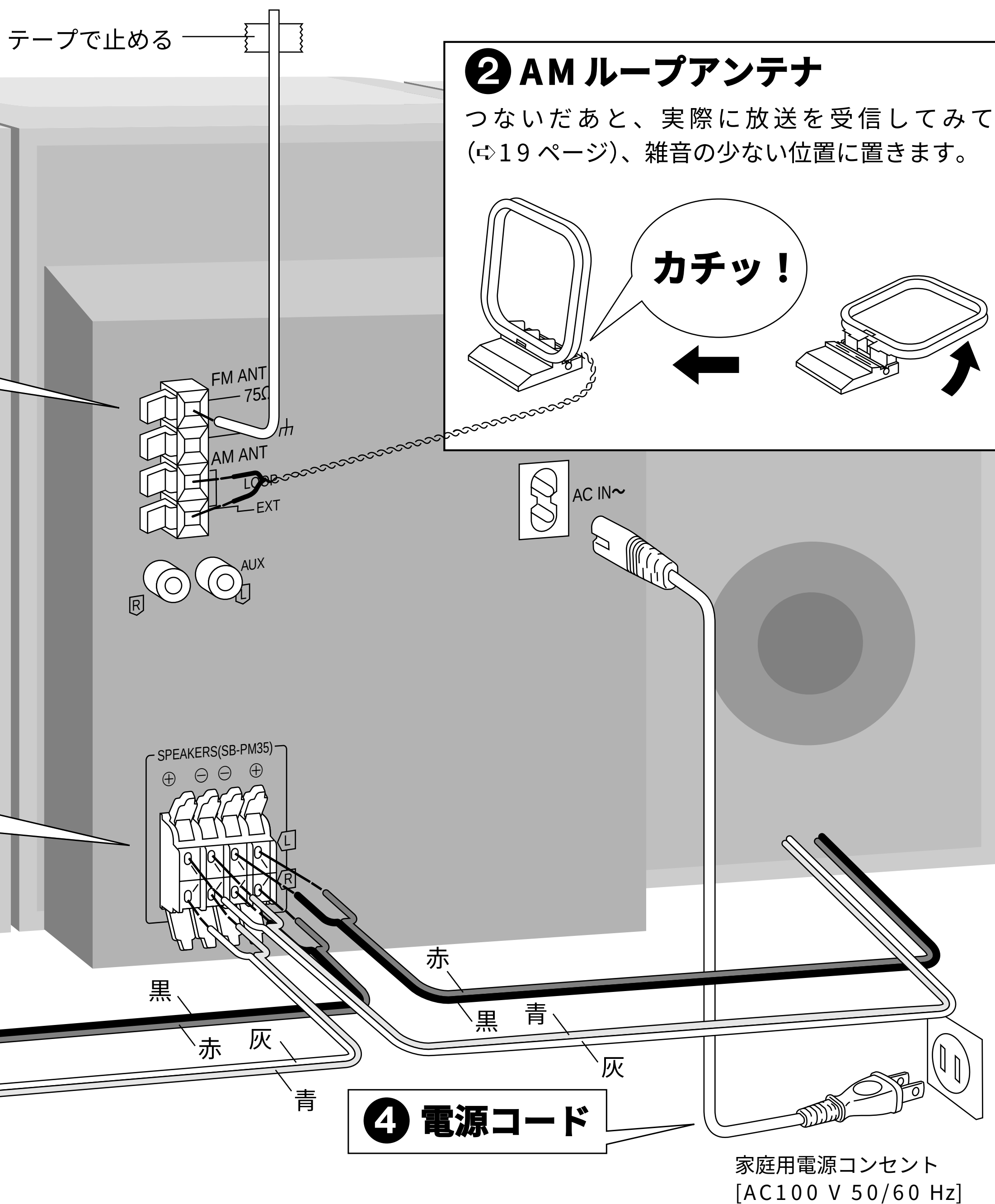
❸ スピーカーコード

端子のレバーと、同じ色のコードをつなぎます。



ラジオを聞くには
FM簡易型アンテナ/AMループアンテナは必ず接続してください。
接続しないと放送局を受信できません。

電源コードは最後に接続します。

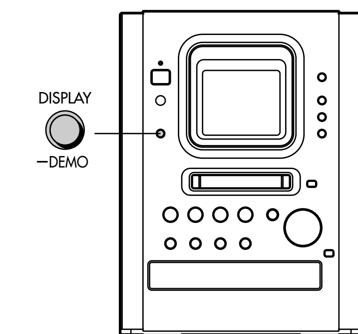


デモ機能

ディスプレイ表示の変化について

電源コードをつないで、しばらくすると電源が「**入**」になり、ディスプレイ表示が自動的に点灯し、次々と変化するのをお楽しみいただけます。
これを**「デモ（デモンストレーション）機能」**と呼びます。
- お買い上げ時の設定は「入」です。
- ご使用に際して「切」にされることをおすすめします。

■デモ機能を「切」にするには



DISPLAY –DEMO デモ機能動作中に
“NO DEMO”と表示するまで押し続ける

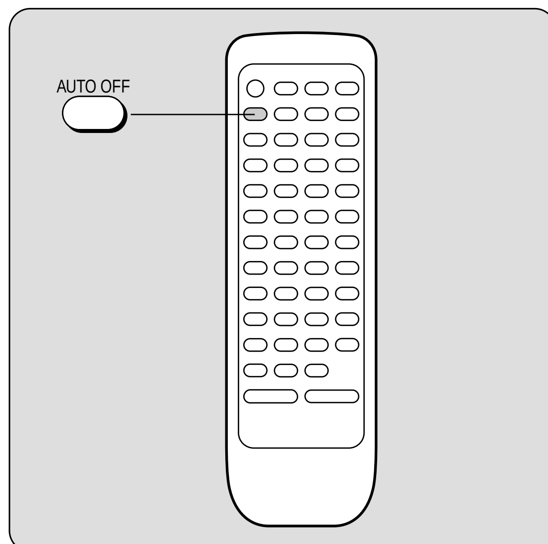
NO DEMO

押し続けるたびに
NO DEMO（切）⇄DEMO（入）

- 時計未設定、デモ機能「入」の状態で電源を切ると、約10秒後、デモ機能がはじまり、電源が「入」になります。
- 電源「切」時に［DISPLAY、－DEMO］を押し続けると、デモ機能が働き、電源が「入」になります。

■電源コードを抜いたり、停電があったときは
前の状態がデモ機能「入」のとき、デモ機能は「入」になります。デモ機能が不要な場合は、［DISPLAY、－DEMO］を押し続けて、「切」にしてください。

オートオフ機能



リモコンのみ

電源の切り忘れを防ぎます。
MD、CD、テープの演奏を停止し、ボタン操作がない状態が10分間続くと、自動的に電源が切れます。
オートオフ機能を働かせるには、必ずデモ機能を「切」にしてください。

［AUTO OFF］を押す

AUTO OFF

解除するには、
もう一度［AUTO OFF］
を押し、表示を消す。

お知らせ
- 一度設定しておくと、電源を切／入してもオートオフ機能が働きます。
- MD、CD、テープモード（下記参照）以外にすると、“AUTO OFF”表示が消えますが、設定内容は記憶されています。（MD、CD、テープモードにすると表示が戻ります）

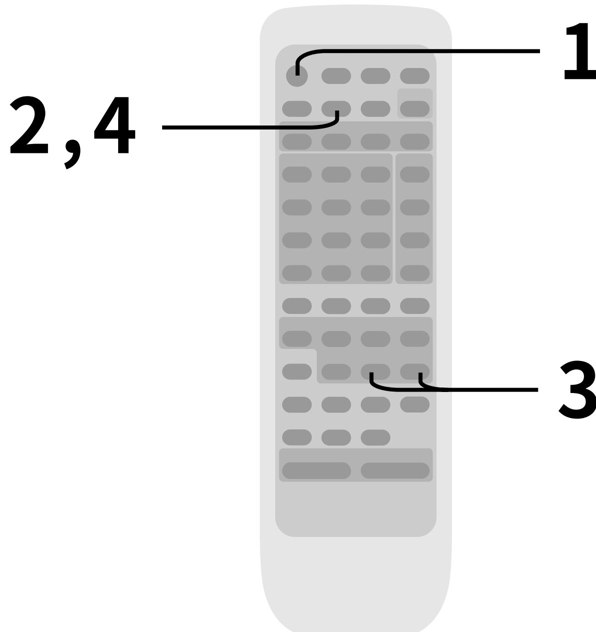
■MD、CD、テープモードとは？
本書では以下の状態を表します。

本体前面の MD (▶/❚❚)、CD (▶/❚❚)、TAPE (◀▶) のいずれかが緑色に点灯しているとき、それぞれ「MDモード、CDモード、テープモードになっている」と呼びます。
- それぞれのモードにするには、［▶/❚❚、MD］、［▶/❚❚、CD］、［◀▶、TAPE］のいずれかを押してから、［■、STOP］を押すか、［SELECTOR］（ファンクション切換え）を押してください。

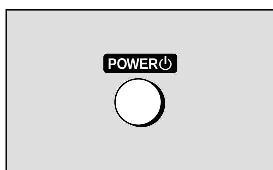
（例）MDモード　MD 17 70:34

時計を合わせる（24時間表示） リモコンのみ

例：16時25分（午後4時25分）に合わせる。



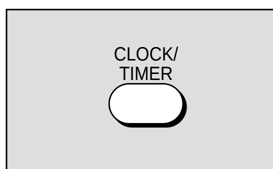
1



押す
電源が入ります。
（デモ機能が働いて、電源が「入」になっているときは不要です）

CD
NO DISC

2

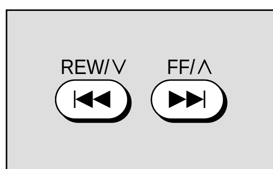


押して
“CLOCK --:--”を選ぶ

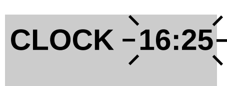


押すたびに
CLOCK→◷PLAY→◷REC
↑――元の表示←――

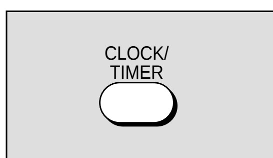
3



約10秒以内に、いずれかを押し
時計を合わせる
- 押し続けると時刻表示が連続して変化します。
- 元の表示に戻ったときは、手順2からやり直してください。



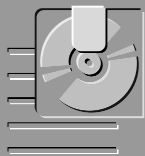
4



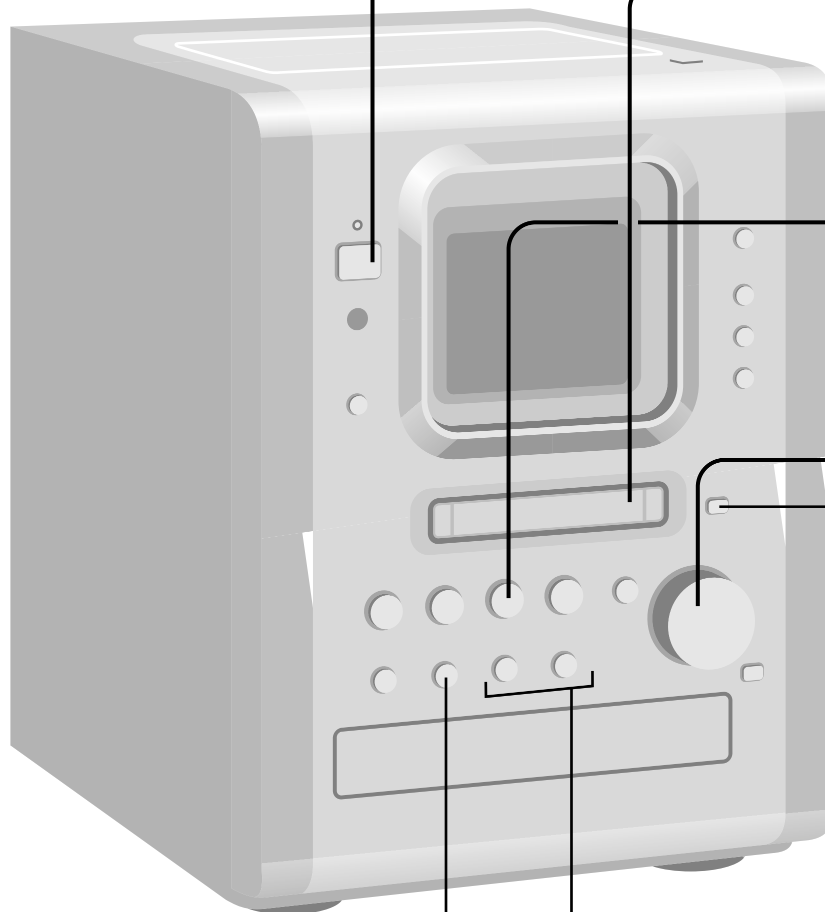
時報に合わせて
押す
時計合わせが完了し、元の表示に戻ります。



お知らせ
本機の時計を合わせると、デモ機能は自動的に「切」になります。



MDを聞く





EJECT



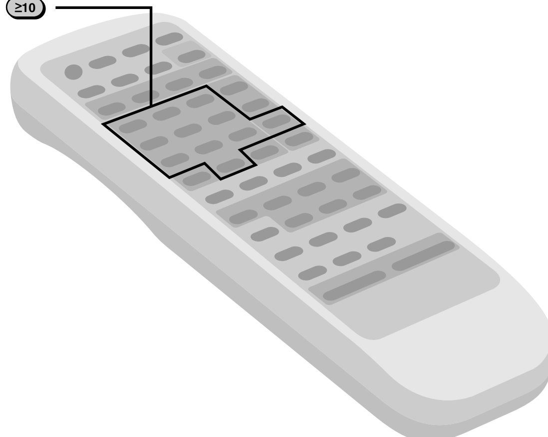
STOP



REW/∨



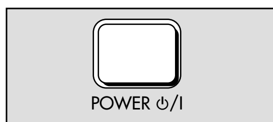
FF/∧



ア 1
カ ABC 2
サ DEF 3
タ GHI 4
ナ JKL 5
ハ MNO 6
マ PQRS 7
ヤ TUV 8
ラ WXYZ 9
DELETE ≧10
ワヲン 0



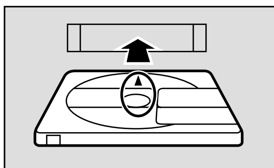
1



押す

電源が入ります。

2



録音済み MD を入れる

MD モードになっているときは、曲数、総演奏時間、ディスクタイトルが表示されます。

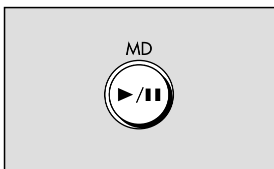
- MD 以外のモードになっているときは、[▶/❚❚、MD]→[■、STOP]を押す

曲数

MD 17 70:34

総演奏時間

3



押す

1 曲目から最終曲まで、順に演奏して、自動停止します。

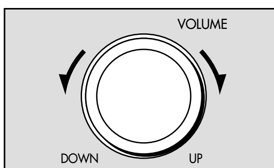
演奏中の曲番　演奏経過時間

MD 1 0:01

SP

SP：演奏中の曲が通常録音モードで録音されている
LP：演奏中の曲が長時間・モノラルモードで録音されている

4



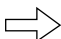
回して

音量を調節する

Volume –48dB

ーーdB（最小）　0dB（最大）

■途中で止めるには





押す

■一時停止するには

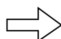


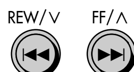


押す

（再開するには、もう一度押す）

■曲を前後にとび越すには（スキップ）





押す

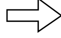
■早戻し・早送りするには（サーチ）





演奏（または一時停止）中に、押し続ける

■MD を取り出すには





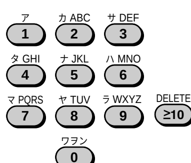
停止中に押す

（電源「切」時に押すと、電源が入る）

■好みの曲から聞くには（ダイレクトプレイ）

リモコンのみ



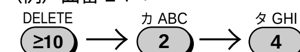


押す

選んだ曲から順に演奏します。

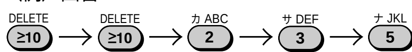
- 10 以上の曲番を選ぶには

（例）曲番 24：



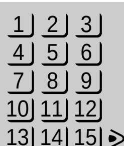
- 100 以上の曲番を選ぶには

（例）曲番 235：

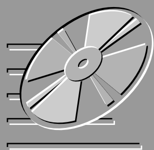


■“ ⩥ ”と表示したら

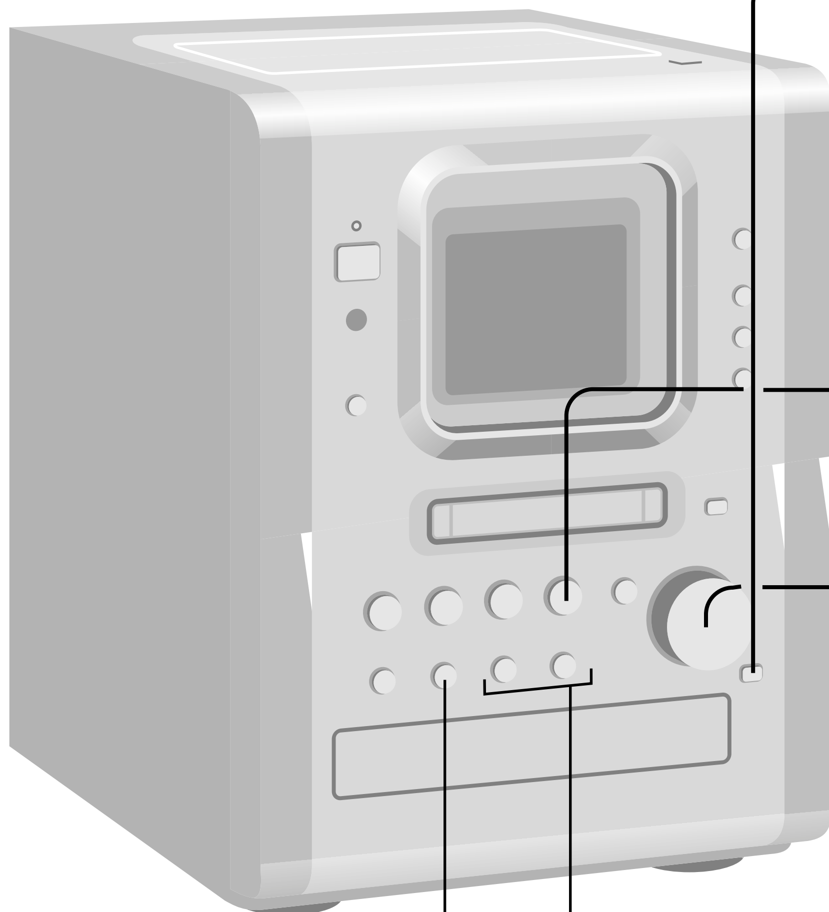
使用中の MD に 16 曲以上入っていることを示しています。



- すでに MD が入っているときには、手順 2 から行うと、自動的に電源が入り、演奏が始まります。（ワンタッチプレイ）



CD を聞く



STOP

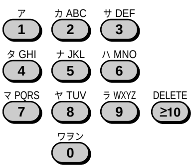


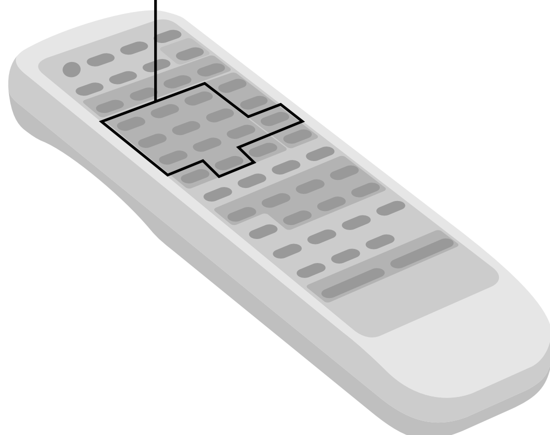
REW/∨



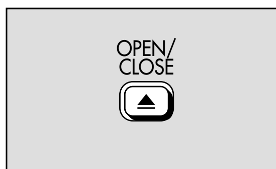
FF/∧







1

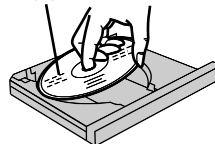


押してトレイを開け

CD を入れる

自動的に電源が入ります。
閉めるには、もう一度押す。
CD モードになっているときは、
曲数、総演奏時間が表示されます。

- CD 以外のモードになっているときは、[▶/❚❚、CD]→[■、STOP]を押す。

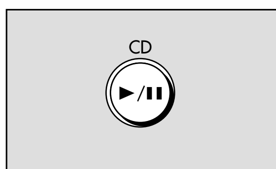


曲数

CD 17 64:34

総演奏時間

2



押す

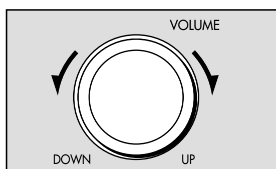
1 曲目から最終曲まで、順に演奏して、自動停止します。

演奏中の曲番

CD 1 0:01

演奏経過時間

3



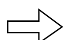
回して

音量を調節する

Volume —48dB

－－dB（最小） 0dB（最大）

■途中で止めるには ⇨




押す

■一時停止するには ⇨




押す
（再開するには、もう一度押す）

■曲を前後にとび越すには（スキップ） ⇨




押す

■早戻し・早送りするには（サーチ） ⇨




演奏（または一時停止）中に、押し続ける

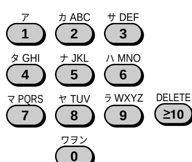
■CD を取り出すには ⇨




停止中に押す
（電源「切」時に押すと、電源が入る）

■好みの曲から聞くには（ダイレクトプレイ）

リモコンのみ

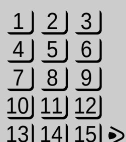
押す
選んだ曲から順に演奏します。

- 10 以上の曲番を選ぶには

曲番 24 ：DELETE ≥10 → カ ABC 2 → タ GHI 4

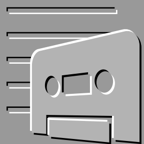
■“ ⩥ ”と表示したら

使用中の CD に 16 曲以上入っていることを示しています。

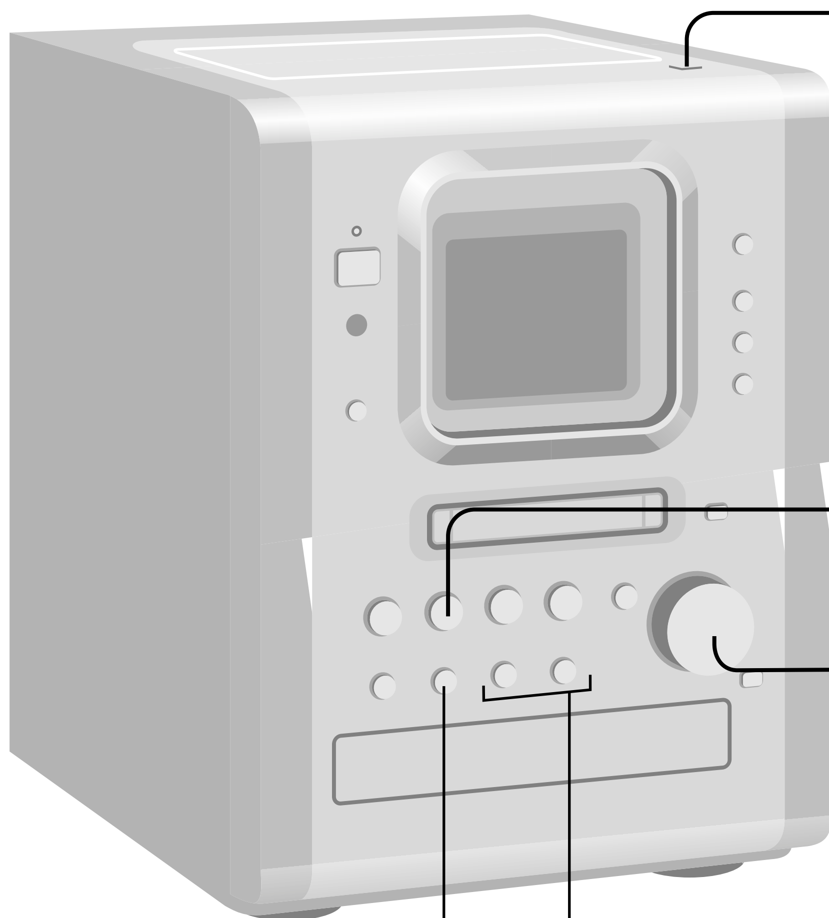


- すでに CD が入っているときには、手順 2 から行うと、自動的に電源が入り、演奏が始まります。（ワンタッチプレイ）

使いかた



テープを聞く





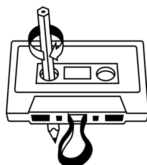
演奏できるテープは?

ノーマルポジション NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ	○
ハイポジション HIGH POSITION/TYPE Ⅱ	○
メタルポジション METAL POSITION/TYPE Ⅳ	○

テープの種類は自動的に判別されます。

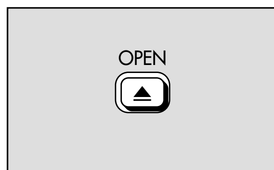
はじめてテープを使用する場合は、50ページ「テープについて」をお読みください。

準備：テープのたるみを取る。



テープを聞く

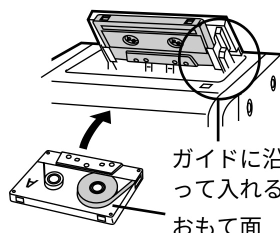
1



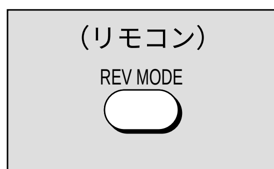
押してホルダーを開け
(自動的に電源が入ります)

テープを入れる

手でホルダーを閉める。
テープ走行方向は、自動的におもて面“FWD▷”になります。



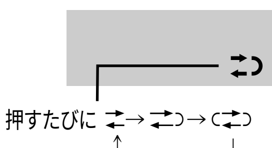
2



押して

リバースモードを選ぶ

⇄ ：片面だけ演奏して自動停止
⇄⊃ ：おもて面→裏面を演奏して自動停止
⊂⇄⊃ ：両面を8回演奏して自動停止

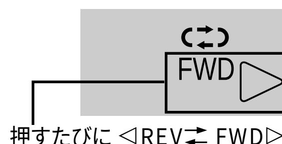


3

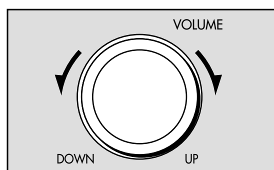


押す

演奏が始まります。
FWD▷ ：おもて面から
◁REV ：裏面から

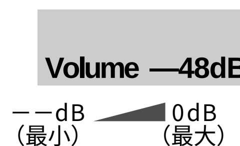


4

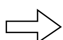


回して

音量を調節する



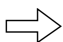
■途中で止めるには

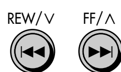




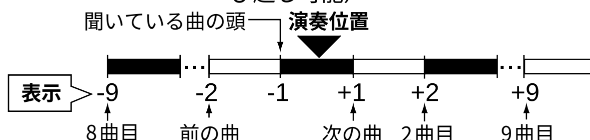
押す

■曲を前後にとび越すには（TPS機能）





演奏中に、押す
(次曲方向9曲、前曲方向8曲までとび越し可能)



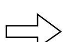
■巻戻し・早送りするには





停止中に、押す

■テープを取り出すには





押す
(電源「切」時に押すと、電源が入る)

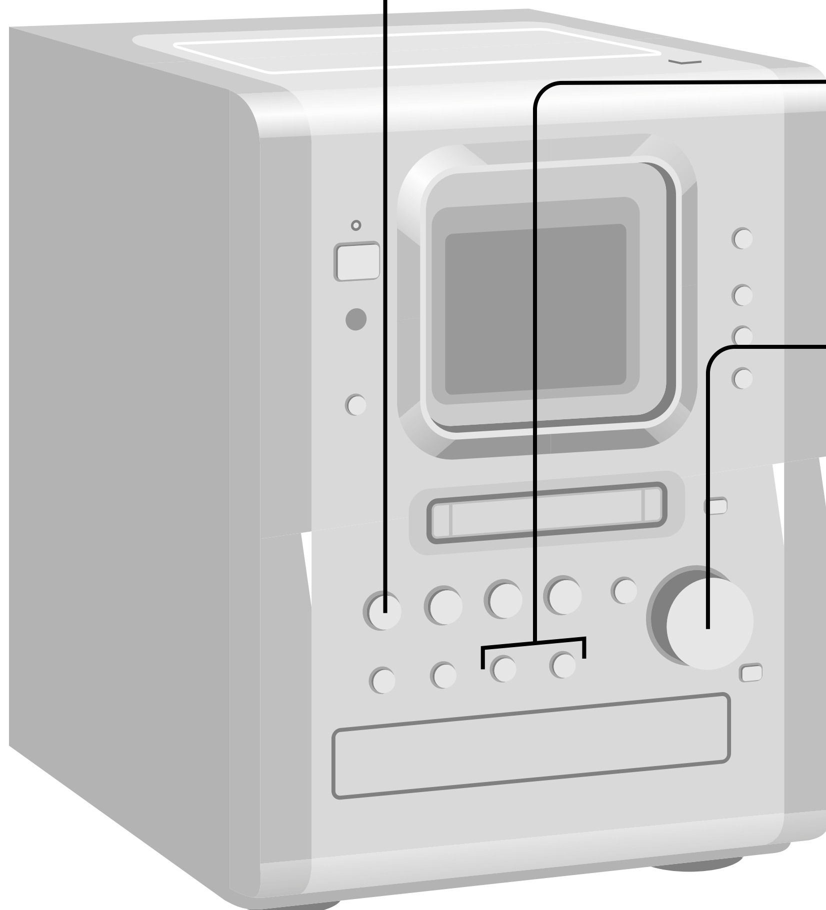
- すでにテープが入っているときには、手順3から行うと、自動的に電源が入り、前に選んでいた走行方向で演奏が始まります。(ワンタッチプレイ)

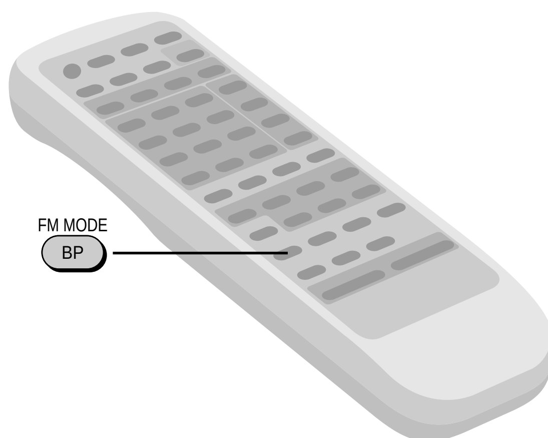
お知らせ

TPS機能は、曲間の約4秒間の無音部を検出して働くため、以下のような場合、正しく動作しないことがあります。
●曲間が短い／●曲間に雑音がある／●曲中に無音に近い部分がある

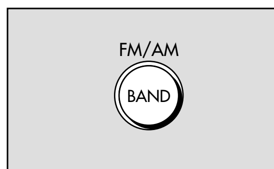


ラジオを聞く





1



押して

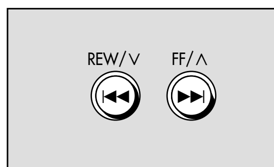
“ＦＭ”または“ＡＭ”を選ぶ

自動的に電源も入り、ラジオに切り換わります。
（ワンタッチプレイ）

FM 76.0 MHz

押すたびにFM ⇄ AM

2



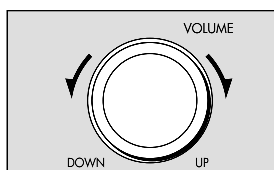
いずれかを押して

好みの放送局を受信する

STEREO：FMステレオ放送を受信すると点灯
TUNED：正確に受信すると点灯

TUNED STEREO
FM 82.5 MHz

3



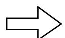
回して

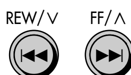
音量を調節する

Volume —48dB

−−dB（最小） 0dB（最大）

■自動選局するには（オートチューニング）





上記2の手順で押し続け、周波数が動き出したら指を離す

放送局を受信すると、止まります。
好みの放送局を受信するまで、同じ操作をくり返してください。

■FMステレオ放送で雑音が多いときは

リモコンのみ





押す

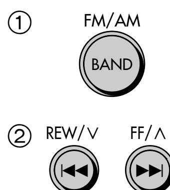
“MONO”が表示されます。
押すたびに
MONO ⇄ 消灯

TUNED MONO
FM 76.0 MHz

通常は“消灯”にしておきます。

■TV音声1〜3chを聞くには





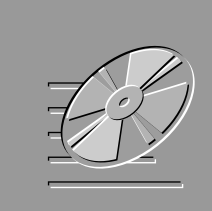
① **“FM”を選ぶ**

② **押し、好みのTV局を受信する**

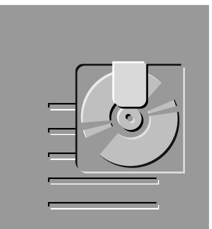
FM76.0MHz←−−−→FM90.0MHz
↕ ↕
TV3ch⟷TV2ch⟷TV1ch

お知らせ

- 山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは、屋外アンテナの接続をおすすめします。（➪47ページ）
- オートチューニング中、周囲に妨害電波があると、放送局を受信せずに周波数が止まることがあります。
- 本機のTV受信回路については、FM受信回路と兼用しているため、2または3チャンネルにFM放送が混信することがあります。







CD を MD に録音する

（シンクロ録音）

CD のデジタル信号をそのままデジタルで録音できます。

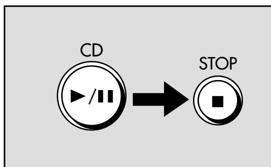
EDIT MODE
–SP/LP

DISPLAY
–DEMO

はじめてMDを使用する場合は、49ページ「MDについて」をお読みください。

準備：① 録音用MDを入れる。（➪ 13ページ）
（MDモードのとき、何も録音されていないMDを入れると、“BLANK DISC”と表示されます）
② MDモード以外で、［EDIT MODE、－SP/LP］を押し続けて、SP/LP録音モードを選ぶ。
SP MODE ：通常録音モード
LP MODE ：長時間・モノラル録音モード（74分ディスクで148分録音可能）

1

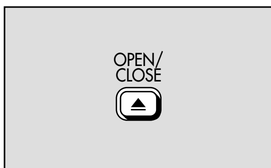


押して

“CD”を選ぶ

CD
NO DISC

2

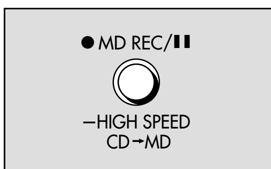


押してトレイを開け

CDを入れる

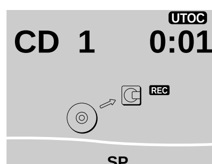
閉めるには、もう一度押す。

3

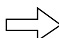


押す

1曲目から録音が始まります。
“UTOC”と“REC”が点灯します。
（CDの演奏が終わると、MDも自動停止）



■途中で止めるには





押す

点滅後、録音が完了



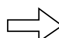
■一時停止するには



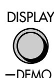


押す（“REC”が点滅）
CDは演奏を続け、MDは録音待機状態になります。
トラックマークが付きます。
（再開するには、もう一度押す）

■MDの残り時間などを知るには



録音中



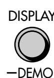
1回押す
残り時間が表示されます。
もう一度押すと、MDの曲番とその曲の録音経過時間を表示します。

MD Rem 30:46

MDの残り時間



停止中



1回押す
残り時間が表示されます。
もう一度押すと、MDの曲数と総演奏時間を表示します。

MD Rem 30:46

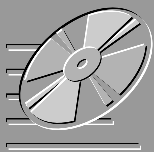
例： MDの残り時間

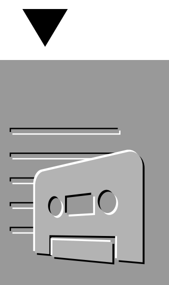
● 表示内容は、モードによって変わります。

録音時の音量・音質について
- 録音レベルは自動的に設定されます。
- 音量・音質を変えた場合、演奏音には効果がありますが、録音されるMD、テープには影響しません。

■気に入った曲をすぐ録音するには（CD追っかけ録音）

CD演奏中に［●MD REC/❚❚］を押す。
曲の始めに戻って演奏し、最後の曲まで終わると、MDは自動停止します。1-RECモード（➪ 28ページ）のときは、その曲を録音したあと、自動停止します。

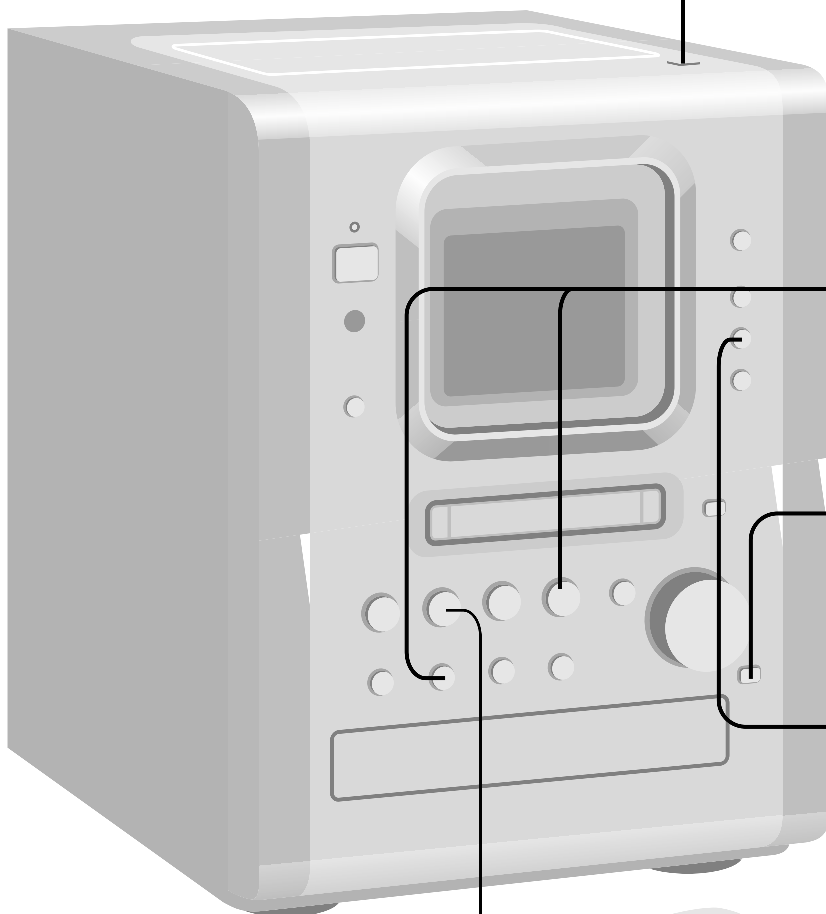




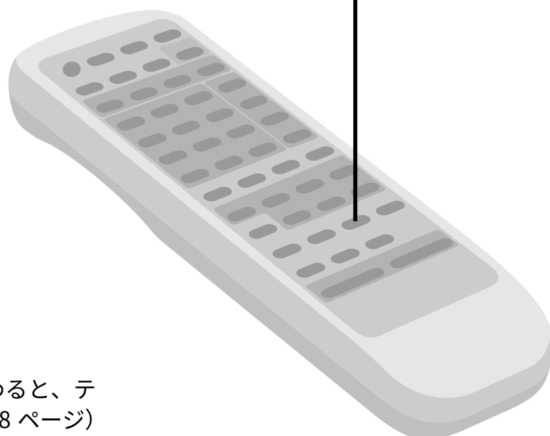
CD をテープに録音する

NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ（ノーマル ポジション）	○
HIGH POSITION/TYPE Ⅱ（ハイ ポジション）	○
METAL POSITION/TYPE Ⅳ（メタル ポジション）	×

- テープの種類は自動的に判別されます。
- メタルポジション・テープを使うと、本機では正しく録音・消去できません。





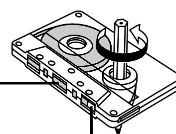


■気に入った曲をすぐ録音するには（CD1 曲追っかけ録音）

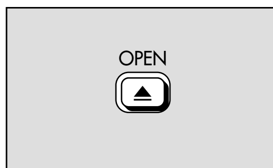
CD 演奏中に［● TAPE REC/❚❚］を押す。
曲の始めに戻って演奏し、最後の曲まで終わると、テープは自動停止します。1-REC モード（➩ 28 ページ）のときは、その曲を録音したあと、自動停止します。

はじめてテープを使用する場合は、50 ページ「テープについて」をお読みください。

準備：リーダーテープ部を巻きとる。



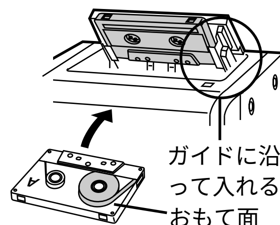
1



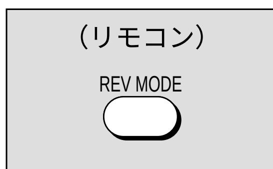
押してホルダーを開け
（押すと自動的に電源が入ります）

録音用テープを入れる

手でホルダーを閉める。
テープ走行方向は、自動的におもて面 “ FWD▷ ” になります。



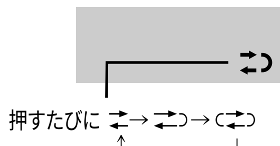
2



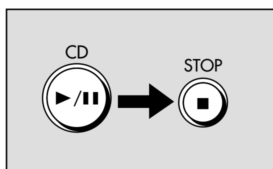
押して

リバースモードを選ぶ

⇄ ：片面だけ録音して自動停止
⇄⊃、⊂⇄⊃ ：おもて面→裏面を録音して自動停止



3

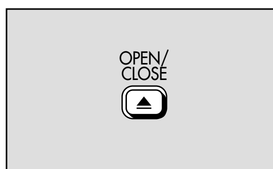


押して

“ CD ” を選ぶ

CD
NO DISC

4

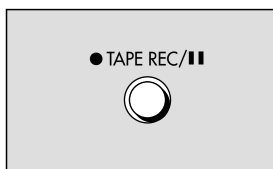


押してトレイを開け

CD を入れる

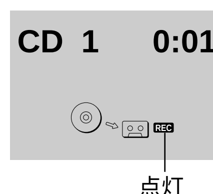
閉めるには、もう一度押す。

5



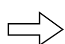
押す

1 曲目から録音が始まります。
手順 2 で ⊂⇄⊃ を選んでいると、⇄⊃ に変わります。
（CD の演奏が終わると、テープも自動停止）



点灯

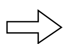
■途中で止めるには





押す

■一時停止するには





押す（“ REC ” が点滅）

CD は演奏を続け、テープは録音待機状態になります。
（再開するには、もう一度押す）

■テープの裏面に録音するには

テープを入れたあと、下記の操作でテープ走行方向を切り換え、録音します。
① [◀▶、TAPE] を 2 度押す。
② すぐに[■、STOP]を押す。
　テープの走行方向が “ ◁REV ” になります。
③ 上記の録音操作を行う。

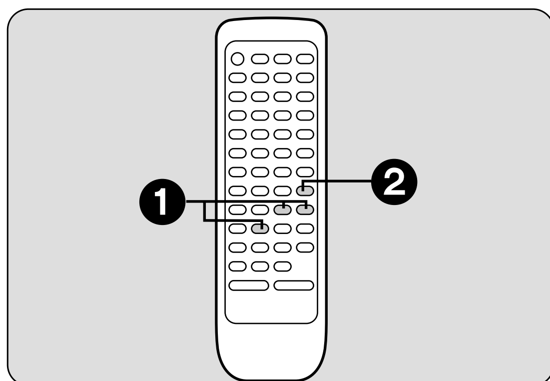
録音時の音量・音質について

- 録音レベルは自動的に設定されます。
- 音量・音質を変えた場合、演奏音には効果がありますが、録音される MD・テープには影響しません。

MD／CD の聞きかた

リモコンのみ　順不同に聞く（ランダムプレイ）

各曲を 1 回ずつ順不同に演奏します。



❶ MD ▶/II または CD ▶/II 押して、“MD”または“CD”を選び、STOP ■ 押す

❷ 停止中に RANDOM 押す



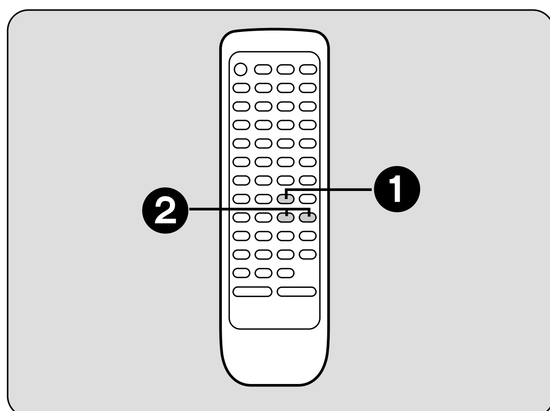
演奏が始まります。

■解除するには
演奏中に［■、STOP］を押す。

お知らせ
- ランダムプレイ中は、前の曲にスキップすることはできません。
- ランダムプレイ中にサーチすると、演奏中の曲の中でだけ早戻し・早送りします。
- ランダムプレイ中は MD 編集できません。

リモコンのみ　演奏をくり返す（リピートプレイ）

次の 2 種類があります。
- 1 曲リピート（1-⮌）：1 曲だけをくり返します
- 全曲リピート（⮌）　：全曲をくり返します



❶ 停止中または演奏中に REPEAT 押す



押すたびに
TRACK REPEAT（1-⮌）→ALL REPEAT（⮌）
↑―― REPEAT OFF←――┘

❷ MD ▶/II または CD ▶/II 押す（停止中のみ）

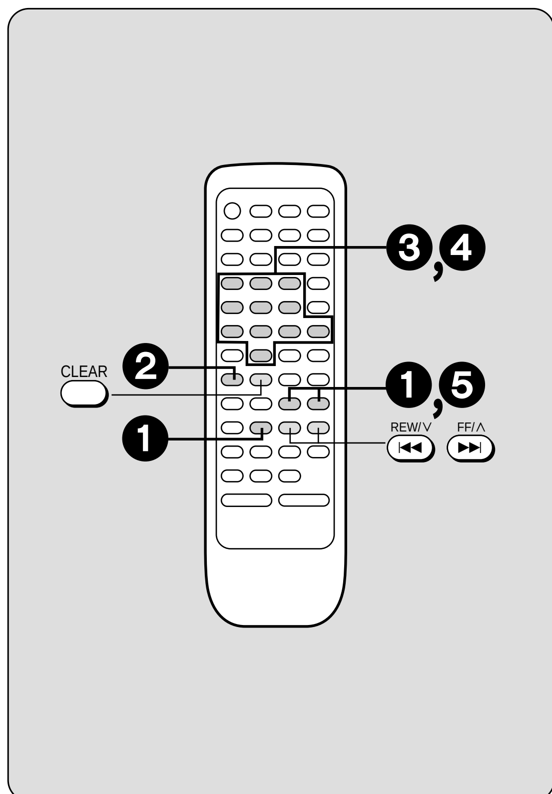
- 1 曲リピートの場合、13、15 ページを参照して好みの曲を演奏させてください。

■解除するには
[REPEAT]を押して、“1-⮌”または“⮌”を消す。

■好みの曲をくり返すには
①好みの曲をプログラムする。（➪ 25 ページ）
②演奏前または演奏中に、[REPEAT]を押して“ALL REPEAT（⮌）”を選ぶ。

リモコンのみ　好みの曲を予約順に聞く（プログラムプレイ）

最大 24 曲まで予約できます。



❶ MD [▶/❚❚] または CD [▶/❚❚] 押して、“ MD ” または “ CD ” を選び、STOP [■] 押す

❷ PROGRAM [ ] 押す

MD 00 0:00 PRGM

❸ [1]〜[0]、[≧10] 押して、曲番を選ぶ

●10 以上の曲番を選ぶには
例）曲番 23: [≧10]→[2]→[3]

●100 以上の曲番を選ぶには（MD のみ）
例）曲番 235: [≧10]→[≧10]→[2]→[3]→[5]

MD 2 4:16 / 01 4:16 PRGM

予約した曲番／予約した曲番の演奏時間／予約順

❹ 手順 ❸ をくり返して、曲番を選ぶ

MD 8 4:23 / 05 26:16 PRGM

予約順　予約した曲数の総演奏時間

❺ MD [▶/❚❚] または CD [▶/❚❚] 押す

予約曲を順に演奏して、自動停止します。

■演奏を途中で止めるには
［■、STOP］を押す

MD 05 26:16 PRGM

■“ PROGRAM FULL ” と表示したら
予約曲数が 24 曲を超えたことを示しています。
これ以上の予約はできません。

■予約した曲の総演奏時間表示が “ ――：―― ” と表示したら
予約時間が 250 分に達したことを示しています。
ただし続けて予約をすることができます。

お知らせ
- プログラムプレイ中のスキップは予約順に行われます。
- プログラムプレイ中のサーチは、MD の場合は予約順に行われ、CD の場合は演奏中の曲の中でだけ行われます。
- プログラムプレイ中は MD 編集できません。

■プログラム解除するには
停止中に[PROGRAM]を押して “ PRGM ” を消す。
（予約内容は保持されます）

● もう一度同じ内容で演奏するには
① [PROGRAM]を押して “ PRGM ” を表示させる。
② [▶/❚❚、MD]または[▶/❚❚、CD]を押す。

■予約内容を確認するには
停止中に［|◀◀］または［▶▶|］を押す。
曲番、予約順、曲番の演奏時間が表示されます。

■予約を追加するには
停止中に数字ボタンを押して曲番を選ぶ。

■全曲を取り消すには
停止中に[CLEAR] を押す。
“ PRGM CLEAR ” が表示され、全曲の予約が取り消されます。
- ディスクを取り出した場合も解除されます。

放送局を記憶させて聞く リモコンのみ

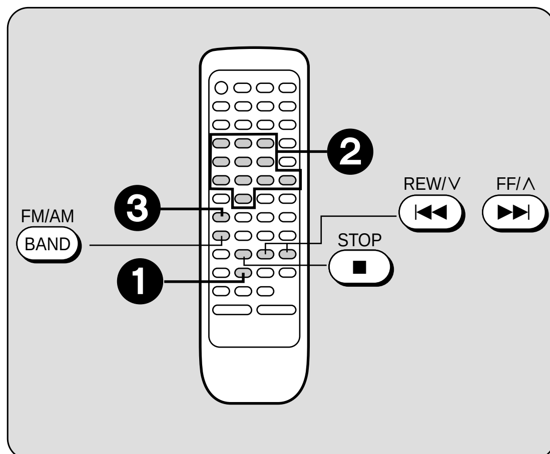
記憶させる

- 放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聞けます。
- FM、AM とも、15 局ずつ記憶させられます。

お住まいの地域を選択する（エリアバンク）

エリア番号を選択するだけで、その地域で受信できる主な FM、AM の放送局を一度に記憶できます。

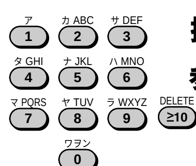
準備：
[BAND、FM/AM]を押して“ FM ”または“ AM ”を選ぶ。
どちらを選んでいても、一度の操作で両方とも設定されます。



❶ AREA **押す**

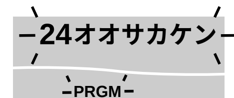


❷ **押して、エリア番号（下記参照）を選ぶ**



- 10 以上のエリア番号を選ぶには

例）エリア番号 24: [≥10] → [2] → [4]



（例：大阪圏）

❸ PROGRAM **押す**



エリアに記憶されている最初の周波数とチャンネルを表示したあと、チャンネル表示は放送局名の表示になります。

エリアバンク（2000 年 6 月現在）

エリア番号	地域名	エリア番号	地域名	エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
1	札幌	11	東京圏	21	大津	31	松山
2	青森		（東京、横浜、千葉、浦和）	22	奈良	32	高知
3	秋田	12	甲府	23	和歌山	33	福岡
4	盛岡	13	松本	24	大阪圏	34	北九州
5	山形	14	静岡		（大阪、神戸、京都）	35	佐賀
6	仙台	15	名古屋圏	25	鳥取	36	長崎
7	福島		（名古屋、岐阜）	26	松江	37	大分
8	宇都宮	16	津	27	広島	38	熊本
9	水戸	17	新潟	28	山口	39	宮崎
10	前橋	18	富山	29	高松/岡山	40	鹿児島
		19	金沢	30	徳島	41	那覇
		20	福井				

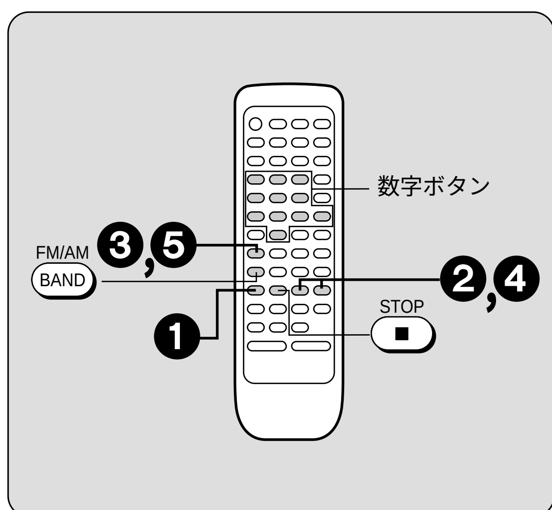
■途中で解除するには
[■、STOP］を押す。
元の表示に戻ります。

■手順 2 で[|◀◀]、[▶▶|]をポンポンと押してエリア番号を選ぶこともできます

好みの局だけ指定する（マニュアルメモリー）

たとえば、エリアバンク指定後の空きチャンネルに、好みの局を記憶させたりして使います。

準備：
[BAND、FM/AM]を押して“FM”または“AM”を選ぶ。



❶ TUNE MODE 押して、“Manual Tune”を選ぶ

Manual Tune

押すたびに
Manual⟷Preset

❷ REW/∨ FF/∧ 押して、周波数を合わせる

❸ PROGRAM 押す

PRGM

❹ “PRGM”点滅中に REW/∨ FF/∧ 押して、チャンネルを選ぶ

FM 80.2 MHz
CH 10

チャンネル

❺ PROGRAM 押す

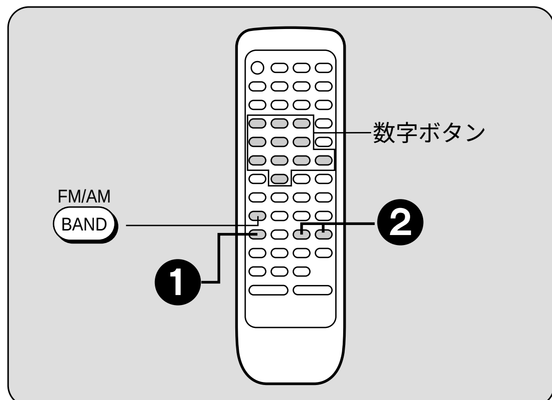
続けて記憶させるには手順❷ー❺を繰り返す。

■途中で解除するには
[■、STOP] を押す。
元の表示に戻ります。

■手順4で数字ボタンを押して、チャンネルを選ぶこともできます。

記憶させた放送局を聞く（プリセットチューニング）

準備：
[BAND、FM/AM]を押して“FM”または“AM”を選ぶ。
（TV音声受信時は“FM”）



❶ TUNE MODE 押して、“Preset Tune”を選ぶ

Preset Tune

押すたびに
Manual⟷Preset

❷ REW/∨ FF/∧ 押して、チャンネルを選ぶ

FM 80.2 MHz
FM802

チャンネル

エリアバンクに記憶されている放送局のときは、チャンネル表示から放送局名の表示になります。

■手順2で数字ボタンを押して、チャンネルを選ぶこともできます。

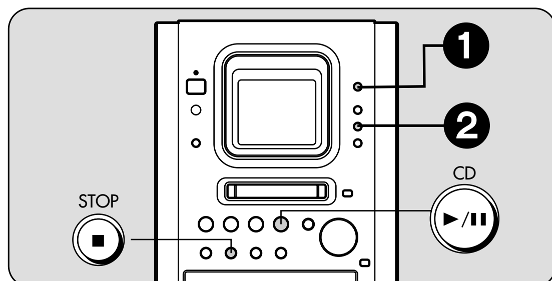
いろいろな録音

CD を自動的にテープのはじめから録音する（AUTO REC モード）

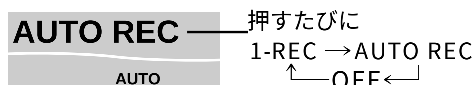
おもて面の最後で曲が途切れたときは、裏面にその曲をはじめから録音します。

準備：

① 録音用テープを入れる。（➪ 17 ページ）
（巻き戻しておく必要はありません）
② CD トレイを開き、CD を入れる。（➪ 15 ページ）
（CD トレイは閉める）
③［▶/❚❚、CD］を押して“ CD ”を選び、［■、STOP］を押す。



❶ EDIT MODE −SP/LP **押して、“ AUTO REC ”を選ぶ**



押すたびに
1-REC →AUTO REC
↑―OFF←―

❷ ●TAPE REC/❚❚ **押す**

● 自動的にテープを巻き戻し、約 10 秒間、無音で録音したあと、1 曲目から録音が始まります。（必ずテープのおもて面から始まります）
● リバースモードは自動的に ⇄ になります。
● 録音が終わると、AUTO REC モードは解除され、“ AUTO ” 表示も消えます。



■録音を途中で止めるには

［■、STOP］を押す。

お知らせ

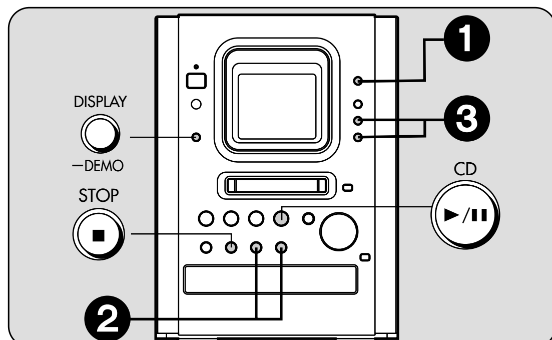
● ランダムプレイ、リピートプレイとの組み合わせ録音はできません。

CD の好みの 1 曲を録音する（1- REC モード）

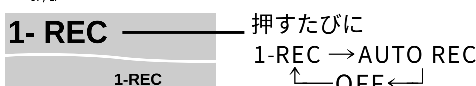
MD またはテープに録音できます。

準備：

① 録音用 MD を入れる。または録音用テープを入れ、リバースモードを選ぶ。
② CD トレイを開き、CD を入れる。（➪ 15 ページ）
（CD トレイは閉める）
③［▶/❚❚、CD］を押して“ CD ”を選び、［■、STOP］を押す。

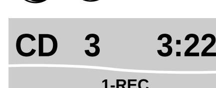


❶ EDIT MODE −SP/LP **押して、“ 1- REC ”を選ぶ**



押すたびに
1-REC →AUTO REC
↑―OFF←―

❷ REW/∨ FF/∧ **押して、曲番を選ぶ**



❸ **MD のとき**

●MD REC/❚❚ −HIGH SPEED CD→MD **押す**



録音が始まります。

テープのとき

●TAPE REC/❚❚ **押す**



録音が始まります。

■録音を途中で止めるには

［■、STOP］を押す。
MD 録音のとき、“ UTOC Writing ” の点滅後、録音が停止します。

■MD の残り時間を確認するには

[DISPLAY、− DEMO]を残り時間表示になるまで数回押す。

■1-REC モードを解除するには

［EDIT MODE、− SP/LP］を押して、“ OFF ” を選ぶ。

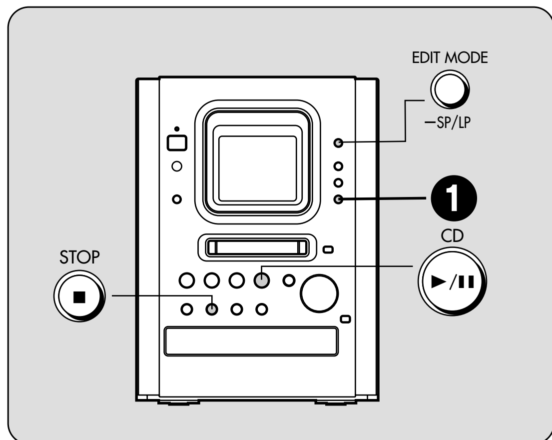
お知らせ

● MD モード以外で［EDIT MODE、− SP/LP］を押し続けて、SP/LP 録音モードを変えることもできます。（MD のみ）
● このモードで MD とテープの同時録音はできません。［● MD&TAPE REC］を押すと 1-REC モードは解除され、MD・テープへの通常の同時録音が始まります。（➪ 30 ページ）

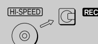
CDをMDに高速（2倍速）で録音する（CD高速録音）

準備：

① 録音用MDを入れる。（➪ 13ページ）
② CDトレイを開き、CDを入れる。（➪ 15ページ）
（CDトレイは閉める）
③ ［▶/❚❚、CD］を押して“CD”を選び、［■、STOP］を押す。



1 ●MD REC/❚❚ –HIGH SPEED CD→MD　**押し続ける**



CD 1 0:01
HI-SPEED REC

1曲目から高速で録音が始まります。

■録音を途中で止めるには

［■、STOP］を押す。
“UTOC Writing”の点滅後、録音が停止します。

お知らせ

- “1- REC”でも高速で録音することができます。
- プログラムプレイ、リピートプレイ、ランダムプレイと高速録音を組み合わせることはできません。
- MDモード以外で［EDIT MODE、－SP/LP］を押し続けて、SP/LP録音モードを変えることもできます。

高速録音の制限について

この製品の高速録音は、著作権保護を目的としたコピー管理システムを採用していますので以下の制限があります。



■この製品は、録音を開始した時点から74分間は、同じ曲を高速で録音することができないようになっています。

- 録音を途中で止めたときも、同じ曲は続けて高速で録音することはできません。
- たとえば20分間で録音がおわったときは、あと54分間は、その曲を高速で録音できません。（定速では録音できます。）

■一度に50曲まで録音できます。

- 高速録音を始めて、74分以内に50曲の録音が終了した場合、最初に高速録音を始めた時点から74分が経過するまで、51曲目の録音はできません。

上記の操作をしたとき、本体表示部に“PLEASE”と“WAIT － － min.”が数秒間、点灯します。

CD を MD とテープに同時録音する

準備：
① 録音用 MD を入れる。（➪ 13 ページ）
② たるみをとった録音用テープを入れ、リバースモードを選ぶ。自動的におもて面から録音されます。（裏面に録音するときは ➪ 23 ページ）
③ CD トレイを開き、CD を入れる。（➪ 15 ページ）（CD トレイは閉める）
④ ［▶/❚❚、CD］を押して“CD”を選び、［■、STOP］を押す。

❶ ●MD&TAPE REC 押す
録音が始まります。

■途中で止めるには
［■、STOP］を押す。
“UTOC Writing”の点滅後、録音が停止します。

■MD の残り時間を知るには
［DISPLAY、－DEMO］を残り時間表示になるまで数回押す。

お知らせ
- テープのおもて面→裏面に切り換わるとき、録音が少し途切れます。
- MD・テープどちらかの残り時間がなくなっても、もう一方は録音を続けます。
- MD モード以外で［EDIT MODE、－SP/LP］を押し続けて、SP/LP 録音モードを変えることもできます。（MD のみ）
- ラジオの場合は、MD とテープの同時録音はできません。

MD をテープに録音する

準備：
① たるみをとった録音用テープを入れる。（➪ 17 ページ）自動的におもて面から録音されます。（裏面に録音するときは ➪ 23 ページ）
② MD を入れる。
③ ［▶/❚❚、MD］を押して“MD”を選び、［■、STOP］を押す。

❶ REV MODE 押して、リバースモードを選ぶ
⇄ ：片面だけ録音して自動停止
⇄⊃、⊂⇄⊃ ：おもて面→裏面を録音して自動停止
押すたびに
⇄→⇄⊃→⊂⇄⊃

“⊂⇄⊃”は録音を始めると、自動的に“⇄⊃”に切り換わります。

❷ ●TAPE REC/❚❚ 押す
録音が始まります。

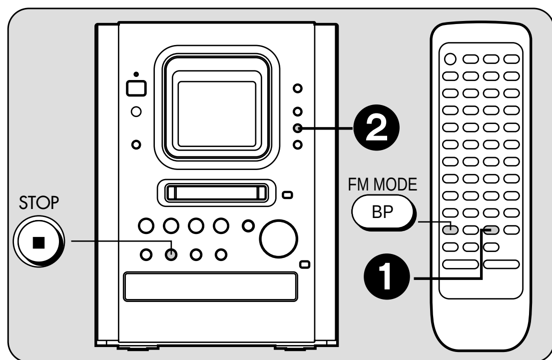
■途中で止めるには
［■、STOP］を押す。

■一時停止するには
［●TAPE REC/❚❚］を押す。MD は演奏を続け、テープは録音待機状態になります。（再開するには、もう一度押す）

ラジオをテープに録音する

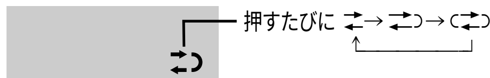
準備：

① たるみをとった録音用テープを入れる。(➪ 17 ページ)
　自動的におもて面から録音されます。
　(裏面に録音するときは ➪ 23 ページ)
② 録音したい放送局を受信する。



❶ REV MODE 押して、リバースモードを選ぶ

⇄　　　　：片面だけ録音して自動停止
⇄⊃、⊂⇄⊃：おもて面→裏面を録音して自動停止



“⊂⇄⊃”は録音を始めると、自動的に“⇄⊃”に切り換わります。

❷ ●TAPE REC/❚❚ 押す

録音が始まります。

TUNER > TAPE

■途中で止めるには

[■、STOP] を押す。

■一時停止するには

[● TAPE REC/❚❚] を押す。
(再開するには、もう一度押す)

■ AM 放送録音中に雑音が多いときは（BP：ビートプルーフ）

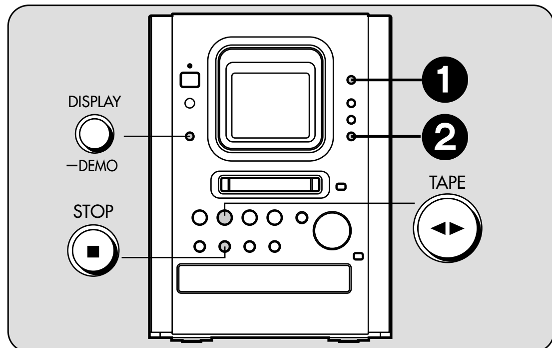
録音中に、[BP、FM MODE]を押す。
押すたびに“BP1”⟷“BP2”
雑音の少ないほうにします。

テープを MD に録音する

テープのアナログ信号をデジタル信号に変換して録音します。

準備：

① 録音用 MD を入れる。(➪ 13 ページ)
② たるみをとったテープを入れる。(➪ 17 ページ)
　テープの走行方向は、自動的におもて面になります。(裏面にするには ➪ 23 ページ)
③ [◀ ▶、TAPE] を押して“TAPE”を選び、[■、STOP] を押す。



❶ EDIT MODE –SP/LP 押して、録音モードを選ぶ

MANUAL（マニュアル）　：通常の録音
TIME MARK（タイムマーク）：5 分ごとに自動でトラックマークが付く

TIME MARK
TIME MARK

押すたびに
MANUAL ⟷TIME MARK

❷ ●MD REC/❚❚ –HIGH SPEED CD→MD 押す

録音が始まります。

■途中で止めるには

[■、STOP]を押す。
“UTOC Writing”の点滅後、録音が停止します。

■一時停止するには

[● MD REC/❚❚] を押す。トラックマークが付きます。
(再開するには、もう一度押す)

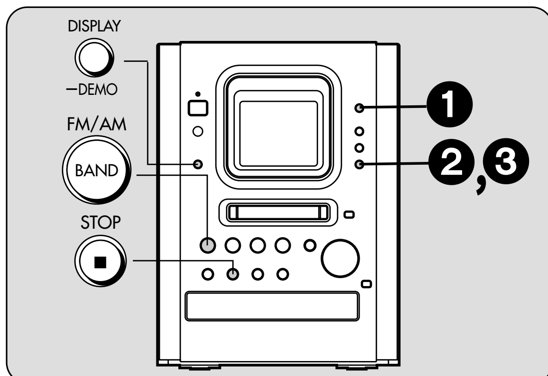
■MD の残り時間を知るには

[DISPLAY、－DEMO]を残り時間表示になるまで数回押す。

ラジオを MD に録音する

ラジオのアナログ信号をデジタル信号に変換して録音します。

準備：
① 録音用 MD を入れる。（➪ 13 ページ）
② 録音したい放送局を受信する。



録音モード

MANUAL（マニュアル）：通常の録音モードです。

TURN BACK（ターンバック）：頭切れを防ぐために、数秒前の音から録音するモードです。ラジオや AUX 端子につないだ CS/BS 放送を録音するとき使います。

TIME MARK（タイムマーク）：5 分毎に、トラックマークが自動的に付くモードです。ラジオから録音するときなどに使います。

TURN/TIME（ターンタイム）：数秒前の音から録音し、5 分毎にトラックマークが自動的に付くモードです。ラジオなどから録音するとき使います。

1 EDIT MODE –SP/LP 押して、録音モードを選ぶ

MANUAL

押すたびに
MANUAL→TURN BACK
↑　　　　　↓
TURN/TIME←TIME MARK

2 ●MD REC/❚❚ –HIGH SPEED CD→MD 押す

TUNER > MD

録音が始まります。

TURN BACK、TURN/TIME 選択時

TURN BACK
TURN BACK
↕
STANDBY
TURN BACK

“ TURN BACK ” の表示が点滅→点灯に変わるまでお待ちください。

3 ●MD REC/❚❚ –HIGH SPEED CD→MD 押す

録音が始まります。

■途中で止めるには

[■、STOP] を押す。
“ UTOC Writing ” の点滅後、録音が停止します。

■一時停止するには

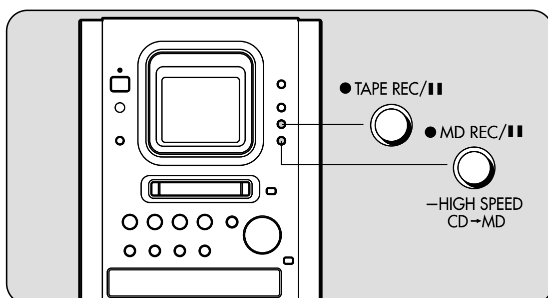
[● MD REC/❚❚] を押す。
トラックマークが付きます。
（再開するには、もう一度押す）

■MD の残り時間を知るには

[DISPLAY、– DEMO]を残り時間表示になるまで数回押す。

お知らせ
- エリアバンクで記憶させた放送局を録音すると、放送局名が曲の名前（トラックタイトル）として記録されます。
- [EDIT MODE、– SP/LP] を押し続けて、SP/LP 録音モードを変えることもできます。

好みの曲を録音する



■ CD から MD に録音

①録音したい曲をプログラムする。（➪ 25 ページ）
② [● MD REC/❚❚] を押して、録音を始める。

■ CD からテープに録音

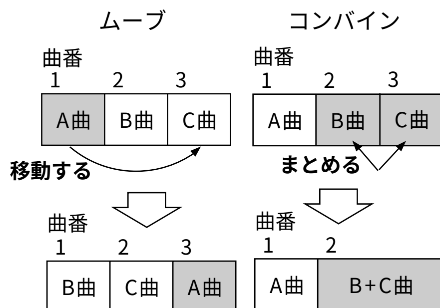
①録音したい曲をプログラムする。（➪ 25 ページ）
② [● TAPE REC/❚❚] を押して、録音を始める。

■ MD からテープに録音

①録音したい曲をプログラムする。（➪ 25 ページ）
② [● TAPE REC/❚❚] を押して、録音を始める。

MD を編集する リモコンのみ

曲順を入れ替えたり、不要な部分を削除したりして、自分だけのオリジナル MD を作ることができます。（録音用 MD のみ）



準備：編集したい MD を入れる。（➪ 13 ページ）

2,4,5 ②,③ 1,① MD ▶/II STOP ■ 3

曲を移動する（ムーブ）

❶ 移動したい曲の演奏中に MD EDIT 押して、“ MOVE? ” を選ぶ

MOVE?

押すたびに
TRACK ERASE?→MOVE?→COMBINE?
└── DIVIDE? ←──┘

❷ ENTER 押す

MOVE ➡ 1 > ---?

❸ REW/∨ |◀◀ FF/∧ ▶▶| 押して、移動先を選ぶ

1 > 3?

❹ ENTER 押す

1 > 3 ? ⬌ PRESS ENTER

❺ ENTER 押す

“ UTOC Writing ” の点滅後、編集が完了。

■途中で解除するには

［■、STOP］を押す。

■停止中でもできます

① ［▶/II、MD］を押して“ MD ”を選び、［■、STOP］を押す。
② ［MD EDIT］を押して“ MOVE? ”を選ぶ。
③ ［ENTER］を押す。
④ ［|◀◀］、［▶▶|］で移動する曲を選ぶ。
⑤ ［ENTER］を押す。
⑥ ［|◀◀］、［▶▶|］で移動先を選ぶ。
⑦ ［ENTER］を押す。
⑧ ［ENTER］を押す。

2 曲を 1 つにまとめる（コンバイン）

① まとめる 2 曲の後ろの曲の演奏中に MD EDIT 押して、“ COMBINE? ” を選ぶ

COMBINE?

押すたびに
TRACK ERASE?→MOVE?→COMBINE?
└── DIVIDE? ←──┘

② ENTER 押す

2 + 3 ? ⬌ PRESS ENTER

曲のつなぎ目の前後 8 秒間をくり返し演奏します。（モノラルでは 16 秒間）

③ ENTER 押す

“ UTOC Writing ” の点滅後、編集が完了。

■途中で解除するには

［■、STOP］を押す。

■編集前の状態に戻すには

ディバイド機能（➪ 34 ページ）をお使いください。

■停止中でもできます

① ［▶/II、MD］を押して“ MD ”を選び、［■、STOP］を押す。
② ［MD EDIT］を押して“ COMBINE? ”を選ぶ。
③ ［ENTER］を押す。
④ ［|◀◀］、［▶▶|］でまとめる曲の組み合わせを選ぶ。
⑤ ［ENTER］を押す。
⑥ ［ENTER］を押す。

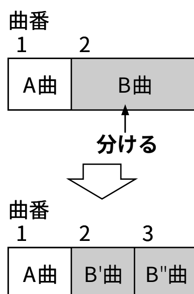
お知らせ

- 2 曲を 1 つにまとめると、後ろの曲に付いていたタイトルは消え、前の曲のタイトルになります。
- SP モードで録音された曲と LP モードで録音された曲は、1 つにまとめられません。

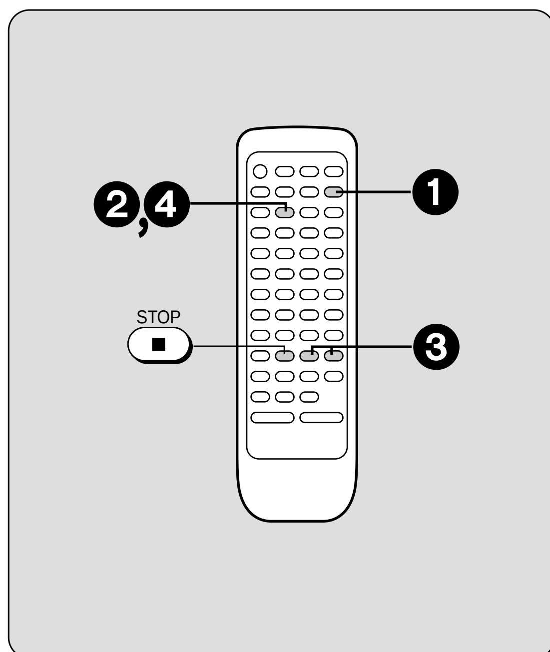
ＭＤを編集する（つづき）

１曲を２つに分ける（ディバイド）

例：曲番２を、２つに分ける。



準備：
編集したいMDを入れる。（➪13ページ）



❶ ２つに分ける曲の演奏中に MD EDIT 押して"DIVIDE？"を選ぶ

DIVIDE?

押すたびに
TRACK ERASE?→MOVE?→COMBINE?
↑―― DIVIDE? ←――

❷ おおよその分けたい位置で ENTER 押す

DIVIDE ➡ POS 0?

分けた位置からの４秒間をくり返し演奏します。（モノラルでは８秒間）

❸ REW/∨ ⏮ FF/∧ ⏭ 押して正確な位置を調節する

POS +20?

前後８秒で調節できます。
（モノラルでは16秒）
- 数値は－128から＋127の範囲で表示されます。

❹ ENTER 押す

UTOC Writing

点滅後、編集が完了。
- 分けた位置にトラックマークが付きます。

■途中で解除するには
［■、STOP］を押す。

■編集前の状態に戻すには
コンバイン機能（➪33ページ）をお使いください。

お知らせ
タイトルの付いた曲を２つに分けると、後ろの曲はタイトルなしになります。

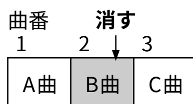
曲を消す（イレース）

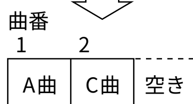
イレースには次の２種類があります。

TRACK ERASE（トラックイレース）**：** １曲／数曲（最大２４曲）を消したいとき

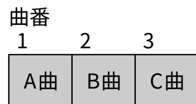
ALL ERASE（オールイレース）**：** 一度に全曲を消したいとき

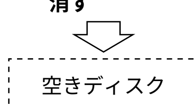
（TRACK ERASE）（トラックイレース）





（ALL ERASE）（オールイレース）

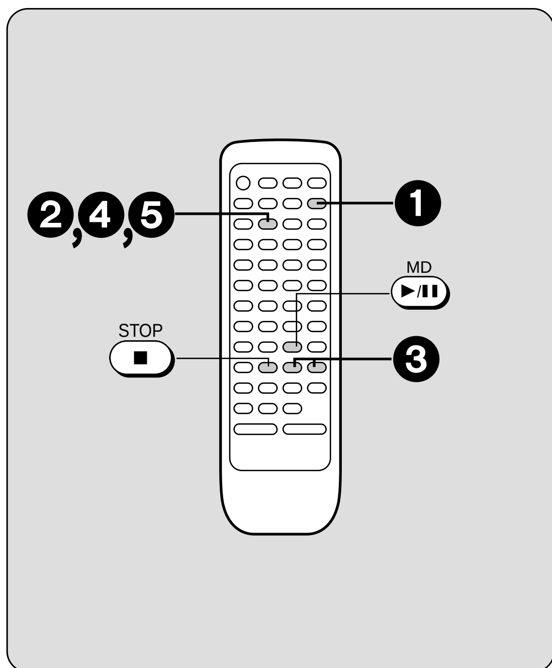




準備：

①編集したいMDを入れる。（➪ 13 ページ）

②［▶/❚❚、MD］を押して“MD”を選び、［■、STOP］を押す。



❶ 停止中に［MD EDIT］押して
“TRACK ERASE？”または“ALL ERASE？”を選ぶ

ALL ERASE?（例：ALL ERASE）

押すたびに

TRACK ERASE?→ALL ERASE?→MOVE?
↑—TITLE ST.?←COMBINE?←┘

❷ ［ENTER］押す

（ALL ERASEのとき）

ALL ERASE? ⟷ PRESS ENTER

（TRACK ERASEのとき）

TRACK ERASE ➡ ERASE -?

１曲／数曲を消す（TRACK ERASE）

❸ ［REW/∨ ⏮］［FF/∧ ⏭］押して、消したい曲番を選ぶ

MD 2 3:22 —選んだ曲の演奏時間
ERASE 2? —選んだ曲

❹ ［ENTER］押す

MD 5 -- 4 （5：最後に選んだ曲、4：選んだ曲の総数）
ERASE 5 ?

“PRESS ENTER”と交互に点灯

続けて消したいときは手順❸、❹をくり返す

❺ ［ENTER］押す

UTOC Writing

TRACK ERASE：
“UTOC Writing”点滅後、編集が完了。

ALL ERASE：
“UTOC Writing”→“BLANK DISC”表示になり、編集が完了。

■途中で解除するには

［■、STOP］を押す。

■“OVER”と表示したら

２４曲を超えて消そうとしました。
これ以上は消せません。

■トラックイレースは演奏中（または一時停止中）でもできます

① 消したい曲を演奏（または一時停止）する。
② ［MD EDIT］を押して“TRACK ERASE?”を選ぶ。
③ ［ENTER］を押す。
④ ［ENTER］を押す。

MD にタイトルを付ける

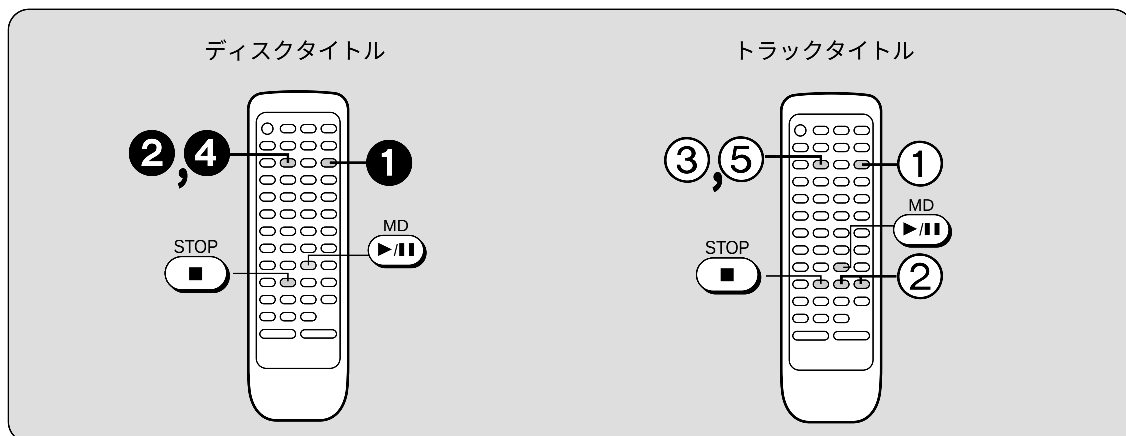
- MD の名前（ディスクタイトル）や曲の名前（トラックタイトル）が各 100 文字まで記録できます。
- 1 枚の MD にはアルファベットで約 1700 文字記録できます。（文字の種類、曲数などの関係で、少し減ることがあります。）

■文字の種類

カタカナ（大、小）：アイウエオァィゥェォなど
アルファベット（大）：A B C D E F Gなど
アルファベット（小）：abcdefg など
数字：0123456789
記号：！"＃＄％＆’（）＊＋，－．/：など

録音済み MD にタイトルを付ける

準備： ① タイトルを付けたい MD を入れる。（➪ 13 ページ）
② ［▶/❚❚、MD］を押して“ MD ”を選び、［■、STOP］を押す。



■ディスクタイトルを付ける

❶ 停止中に TITLE 押す

DISC? TITLE

❷ ENTER 押す

タイトル入力画面になります。



カーソル

❸ 文字を入力する（➪ 37 ページ）

❹ ENTER 押す

UTOC Writing

点滅後、タイトル入力が完了。トラックタイトルの入力待機画面になります。
続けてトラックタイトルを入力するときは、右記手順③から操作してください。

■トラックタイトルを付ける

① 停止中に TITLE 押す

② REW/∨ ⏮ FF/∧ ⏭ 押して、曲番を選ぶ

TR 2? TITLE

③ ENTER 押す

タイトル入力画面になります。



④ 文字を入力する（➪ 37 ページ）

⑤ ENTER 押す

“ UTOC Writing ”点滅後、次のトラックタイトル入力待機画面になります。

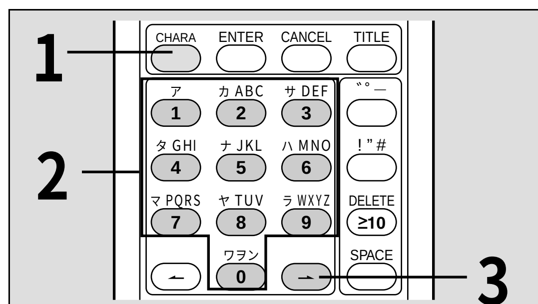
TR 3? TITLE

[ENTER]を押して、くり返し必要なタイトルを入力する。

すべてのトラックタイトルの入力が終わると、ディスクタイトルの入力画面になります。

文字入力のしかた

タイトル入力画面にした後、以下の方法で入力してください。
選んだ文字がカーソル部分に入力されます。



1 [CHARA]を押して、文字の種類を選ぶ

押すたびに ア→A→a→1

2 数字ボタンを押して、文字を選ぶ

選んだ文字がエディットアイとカーソルに表示されます。



エディットアイ

3 [→] を押す

文字が確定され、次の文字の入力画面になります。



●同じ種類の文字を入力するときは、手順 1 は不要です。

文字の種類と、各ボタンに割り当てられた文字

各数字ボタンを押すたびに、一文字ずつ順に表示されます。

	カタカナ ア	アルファベット 大文字 A	アルファベット 小文字 a	数字 1
ア 1	アイウエオ アイウエオ			1
カ ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ GHI 4	タチツテト ッ	GHI	ghi	4
ナ JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ TUV 8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
ラ WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン 0	ワヲン			0

■記号を入力するには

[! " #] を押す。
押すたびに下の順序で記号が現れます。

! " # $ % & ' ( ) ＊ + , − . / : ; < = > ? @ _ `

■文字を削除するには

① [←] または [→] でカーソルを動かし、削除する文字の上に置く。
② [DELETE]を押す。
カーソル位置の文字が削除され、後ろに文字があるときは前に詰まります。

■文字の間に新しい文字や空白を入れるには

① [←] または [→] でカーソルを動かし、挿入位置の右の文字の上に置く。
② 新しい文字を入力する。
空白を入れる場合は、必要な数だけ[SPACE]を押す。

■文字を変更するには

① 変更したい文字を消す。
② 新しい文字を入力する。

■゛゜ーを入力するには

[゛゜ー] を押す。押すたびに ゛→ ゜→ ー

■入力を途中でやめるには

[■、STOP]または[CANCEL]を押す。
ただし、すでに[ENTER]を押して確定したタイトルは残ります。

■入力中に 1 文字分あけるには

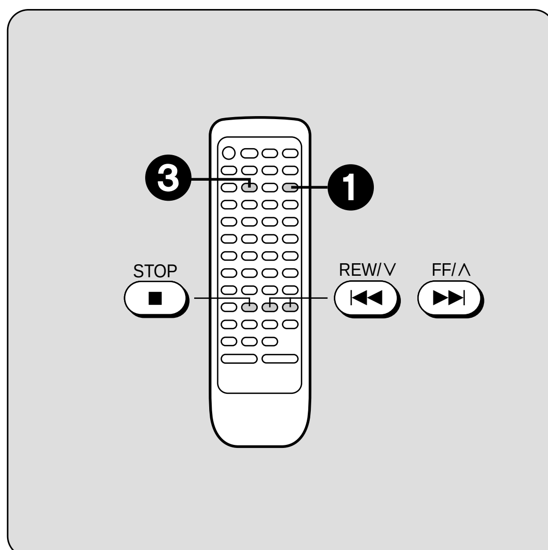
[→] を押す。
カーソルが 1 つ右に移動します。

お知らせ

●濁点（゛）や半濁点（゜）は、表記可能なカタカナの後ろにだけ入力できます。あり得ない表記の場合は選択候補として現れません。
●文字と、濁点／半濁点の間に空白などは入れられません。
●入力中に最大文字数を超える操作をした場合は、“ TITLE FULL ” と表示します。
● 文字の種類は入力中でも切り換えられます。

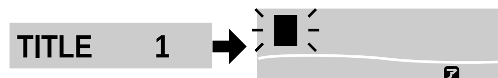
MD にタイトルを付ける（つづき）

CD を録音中にまとめてトラックタイトルを付ける



❶ 録音中に TITLE 押す

録音している曲のタイトル入力画面になります。



❷ 文字を入力する（➪ 37 ページ）

❸ ENTER 押す

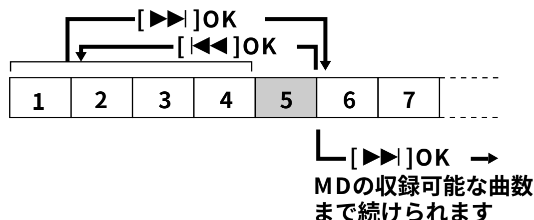
TITLE 2 ?

2 曲目のタイトル入力待機画面になります。

[ENTER]を押して、くり返し、全曲を入力します。
（曲名を入力しなくても、[ENTER]を押すと、次の曲に進みます）
録音が終了すると、“ UTOC Writing ” 点滅後、タイトル入力が完了。

別のトラックタイトルへのスキップについて

例：タイトル 5 まで入力後、“ TITLE 6? ” と表示中に［⏮］を押すと、タイトル 1 ～ 5 に戻って入力し直せます。
その後、[⏭]を押して、タイトル 6 からの入力を続けられます。



■途中で解除するには

[■、STOP]を押す。
入力が解除されます。ただし、[ENTER]を押して確定したタイトルは記憶されています。

■録音した MD の演奏中にタイトルを付けることもできます（演奏中の曲のみ）

① 演奏中に[TITLE]を押す。
② 文字を入力する。（➪ 37 ページ）
③ [ENTER]を押す。
“ TITLE WRITE ” と表示したあと、通常の表示に戻ります。

■ CD からの録音以外はまとめてトラックタイトルは付けられません

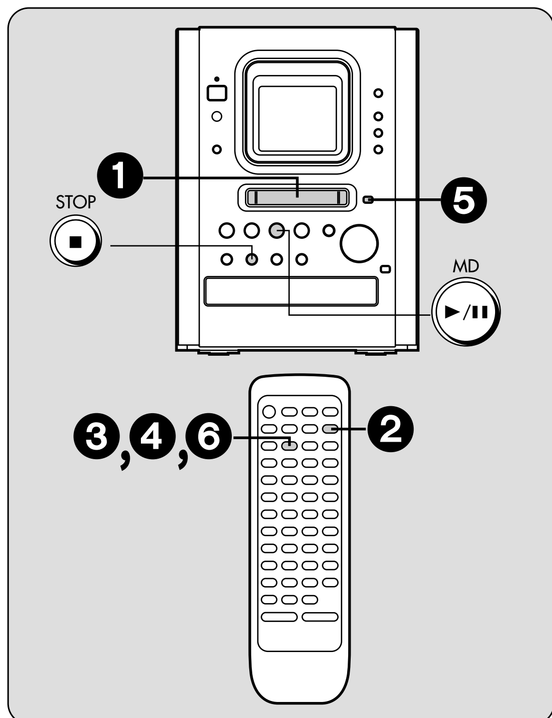
お知らせ

- 録音／演奏が次の曲に移っても、タイトルが次の曲に付くことはありません。
- 入力中に録音／演奏が終了した場合、入力状態は解除されます。ただし、[ENTER]を押して確定したタイトルは記録されています。
- 入力中に録音が終了した場合は、入力途中の文字も含めて、タイトルの書き込みが行われます。
- MD の録音曲数よりもタイトルの方が多い場合は、余ったタイトルは記録されません。
- 録音中に入力モードを解除しても、上記 ❶ － ❸ をくり返すと、もう一度入力モードに入って、タイトルを入力・修正できます。
- 演奏中にタイトルを付けたあと、“ UTOC ” の点灯中は、文字入力以外の編集はできません。一度、[■、STOP]を押して、“ UTOC Writing ” の点滅後に行ってください。

他のMDにタイトルをコピーする（タイトルステーション）

- MDのディスク/トラックタイトルを別のMDにそのままコピーできます。一度タイトルを入れておけば、二度目からは入力の手間が省けます。
- 下記の「タイトルをコピーする前に」をお読みください。

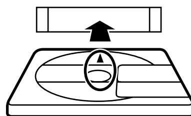
準備：
［▶/❚❚、MD］を押して" MD "を選び、［■、STOP］を押す。



タイトルをコピーする前に

- コピー元とコピー先のMDの曲数が同じときだけコピーできます。
- 演奏専用MDや、未録音のMD（BLANK DISC）は使用できません。
- すでにタイトルの入っているMDにタイトルをコピーすると、以前のタイトルはすべて消えます。

1 コピー元のMDを入れる



2 停止中に MD EDIT 押して" TITLE ST.? "を選ぶ

TITLE ST.?

押すたびに
TRACK ERASE? →ALL ERASE?→MOVE?
↑—TITLE ST.? ← COMBINE?←—┘

3 ENTER 押す

TITLE ST. ? ⟷ PRESS ENTER

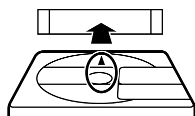
4 ENTER 押す

" EJECT MD "と表示されるまで、しばらくお待ちください。

TITLE MEMORY → EJECT MD

5 EJECT 押して、コピー先のMDと入れ替える

INSERT MD



Writing OK? ⟷ PRESS ENTER

6 ENTER 押す

UTOC Writing

点滅後、コピーが完了。

■途中で止めるには
［■、STOP］を押す。

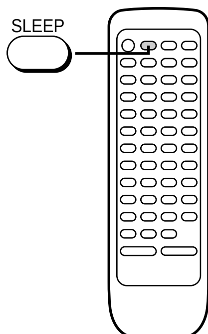
お知らせ

- 本機が記憶できるタイトルはMD1枚分です。
- 電源を切ると本機のタイトル記憶は失われます。

タイマーを使う リモコンのみ

おやすみタイマーを使う

指定した時間が経過すると、演奏を停止し、自動的に電源が切れます。



ソースを聞きながら
［SLEEP］を押して演奏時間を指定する



押すたびに
SLEEP 30 →60 →90 →120 →OFF
（単位：分）

■解除するには
［SLEEP］を押して“ SLEEP OFF ”を選ぶ。

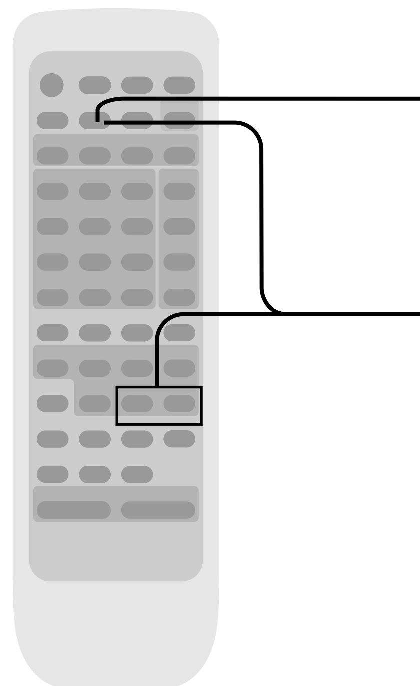
■残り時間を確かめるには
［SLEEP］を 1 回押す。
残り時間が表示されます。

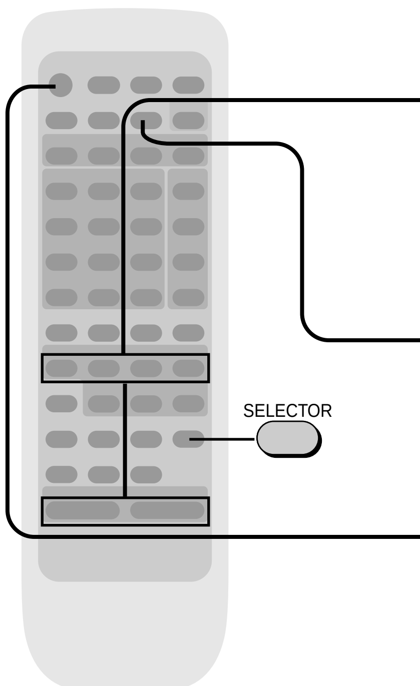
■残り時間を変えるには
［SLEEP］を押して、新たに時間を指定する。

お知らせ
おやすみタイマーは、おめざめ／留守録タイマーと組み合わせて使えます。常におやすみタイマーが優先するため、組み合わせるときは、予約時間が重ならないようにしてください。

おめざめタイマーを使う

準備：① 電源を入れる。
② 時計を合わせる。
（➪11 ページ）



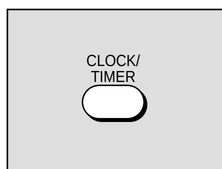


● 設定した時刻に電源が入り、好みのソース（音源）を演奏し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。
● 時刻設定を一度しておくと、あとはソースの設定を変えるだけで、違うソースで使えます。

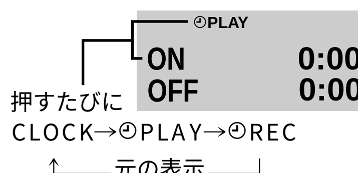
表示例）6：30〜7：40まで好みのソースを演奏する場合

時刻設定

1

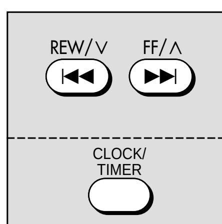


2回押して
おめざめタイマー時刻設定画面にする

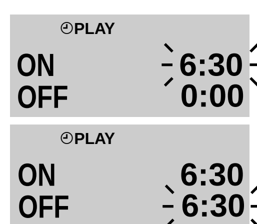


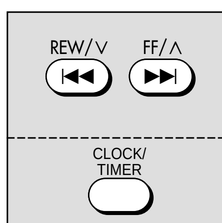
押すたびに
CLOCK→◴PLAY→◴REC
↑―元の表示―┘

2

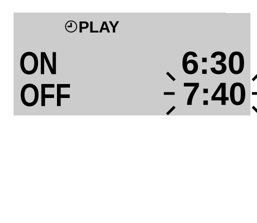


①約5秒以内に、押し
開始時刻に合わせ
↓
押す



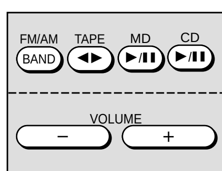


②押し
終了時刻に合わせ
↓
押す



ソース・音量・タイマー実行設定

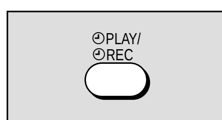
3



ソースと音量を選ぶ
①ソースを演奏し、
②音量を調節し、
③ MD・CD・テープは演奏を止める。

外部機器を使ったタイマー設定
[SELECTOR]を押し、AUXにしたあと、接続した機器を本機と同時刻に動作するように設定してください。

4

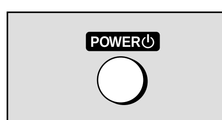


押して
“◴PLAY”を選ぶ



押すたびに
◴PLAY→◴REC→消灯（解除）
↑―――――――――┘

5



押して
電源を切る

設定した時刻になると、決めた音量までフェードイン（徐々に大きく）して、演奏します。

■解除するには（電源「入」時）
[◴PLAY/◴REC] を押して、“◴PLAY”を消す。

留守録タイマーを使う

準備：①電源を入れる。
②時計を合わせる。
（➪11 ページ）
③録音用 MD（またはテープ）を入れる。

設定した時刻に電源が入り、ラジオ放送を録音し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

時刻・録音先設定

1 [CLOCK/TIMER]
3 回押して
留守録タイマー時刻設定画面にする

2 [REW/∨ ⏮] [FF/∧ ⏭] [CLOCK/TIMER]
①約 5 秒以内に、押し
開始時刻に合わせ
↓
押す

②押し
終了時刻に合わせ
↓
押す

3 [REW/∨ ⏮] [FF/∧ ⏭] [CLOCK/TIMER]
どちらに録音するかを選び
↓
押す

ソース・タイマー実行設定

4 [FM/AM BAND]
押して
放送局を受信する

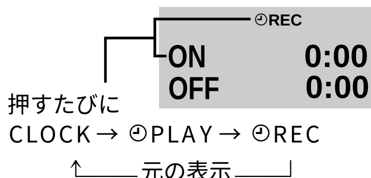
5 [◴PLAY/◴REC]
押して
“◴REC”を選ぶ

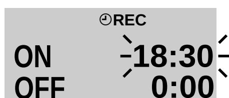
6 [POWER⏻]
押して
電源を切る

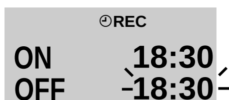
SELECTOR

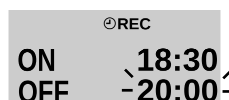
■解除するには（電源「入」時）
［◴PLAY/◴REC］を押して、“◴REC”を消す。

表示例）18：30～20：00
まで好みの放送を録音











外部機器を使ったタイマー設定
[SELECTOR]を押し、AUX にしたあと、接続した機器を本機と同時刻に動作するように設定してください。



- 頭切れ防止のため、設定した時刻の30 秒前になると、タイマー動作が始まります。
- 録音時､音量は自動的に最小になります。

いろいろなタイマー操作について

おめざめタイマー・留守録タイマー共通

■予約した内容を確かめるには

電源「切」のとき
［CLOCK/TIMER］を押す。
自動的に以下の表示を数秒間ずつ行います。
- おめざめタイマー
  開始・終了時刻→ソース（音源）と音量
- 留守録タイマー
  開始・終了時刻→ソースと録音先→録音モード（MD のみ）

電源「入」のとき
［CLOCK/TIMER］を押して、“⏲PLAY”（または“⏲REC”）の開始・終了時刻表示にすると、電源「切」時と同じ内容を数秒間ずつ行います。

■操作をまちがえたり、予約内容を変えるときは

電源を入れ、最初からやり直す。

■予約したあとに、本機で演奏を楽しむには

①電源を入れ、通常の演奏操作をする。
②演奏後は、電源を切る。
音量やソースを変更しても、予約内容には影響しません。

■タイマー動作する／動作しないを切り換えるには

タイマーは、“⏲PLAY”（または“⏲REC”）が表示中は、予約通りに毎日動作します。動作させないときは、［⏲PLAY/⏲REC］を押して、“⏲PLAY”（または“⏲REC”）の表示を消します。

お知らせ
- タイマーを使うときは、必ず電源を切ってください。電源が入っていると動作しません。
- MD に録音するときには、手順 4 で、好みの MD 録音モード（⇨32、46 ページ）にして、留守録タイマーを使うこともできます。（選べるモードはソースによって異なります。）
  ただし、TURN BACK または TURN/TIME モードを選んでも、手順 2 で設定した開始時刻から録音が始まります。

ＭＤネットワーク機能を使う

ＭＤネットワーク対応のポータブルＭＤプレーヤーや、ビジュアル／タイトルプリンター（ともに別売り）と組み合わせることで、ＭＤの楽しさがさらに広がります。

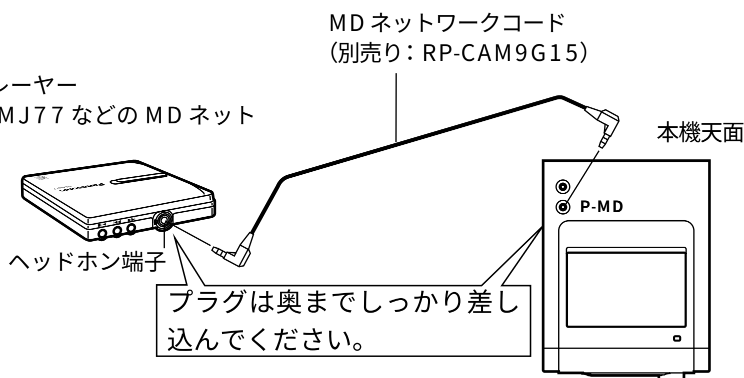
ポータブルＭＤプレーヤー（ＭＤネットワーク対応）をつなぐ

- 本機からポータブルＭＤプレーヤーをコントロールして、録音／タイトルコピーが簡単に行えます。
- 電源を切った状態で接続してください。

対応品



カタログにこのマークが付いているポータブルＭＤプレーヤーです。（SJ-MJ77など）

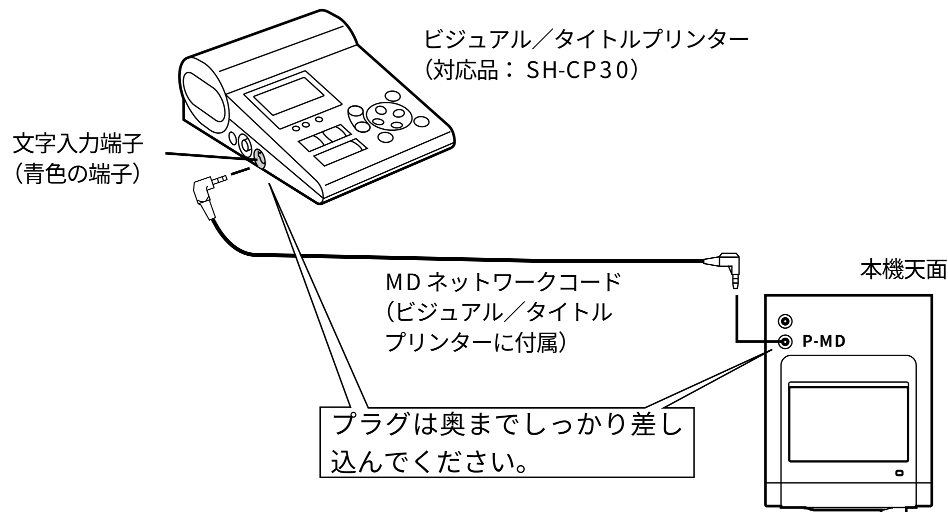


お願い

- ポータブルＭＤプレーヤーは、本機の上に置いて使用しないでください。ノイズが発生するなど、不具合の起こる恐れがあります。

ビジュアル／タイトルプリンターをつなぐ

ＭＤに付いているタイトルを元にして、ＭＤのラベルが印刷できます。
詳しくは、ビジュアル／タイトルプリンターの 説明書をお読みください。



ネットワーク機能でMDからMDに録音する

- 本機ではポータブルMDプレーヤーからのアナログ信号をデジタル信号に変換して録音します。
- 録音元MDにタイトルが付いているときは、そのタイトルが、本機側のMDに、自動的にコピーされます。

STOP
REW/∨
FF/∧
❶
❷

1曲ずつ録音するには

① 右記手順❶のあと、［|◀◀］、［▶▶|］を押して曲番を選ぶ。
確認の意味で、選んだ曲の演奏が自動的に始まります。
② ［● MD REC/❚❚］を押す。
自動的に曲のはじめに戻って、録音が始まります。
1曲の録音が終わると自動停止します。

準備：
① ポータブルMDプレーヤーに、録音元MDを入れる。
② 本機に、録音用MDを入れる。

全曲を録音するには

❶ SELECTOR 押して“P-MD”を選ぶ

P-MD（12）
総曲数

自動的にネットワークが確立し、表示パネルにポータブルMD側の総曲数が表示されます。
ディスクタイトルが付いているときはタイトルも表示されます。

ポータブルMD側は、自動的に、適切な音量・フラットな音質に設定されます。

❷ ● MD REC/❚❚ –HIGH SPEED CD→MD 押す

P-MD → MD ▶ P-MD 1
曲数

自動的に録音が始まります。
全曲の録音が終わると、自動停止します。

■途中で止めるには
［■、STOP］を押す。

■録音用MDには、少し余裕のあるものを
録音元MDにトラックマークが付いているときは、新たに録音したMDの同じ位置に、約1秒間の無音部が記録されます。このため、実際の録音時間は録音元MDの演奏時間より長くなります。
録音の失敗を防ぐために、少し余裕のあるMDをお使いください。

■録音が終わったら
ポータブルMDプレーヤーの電池の消耗を防ぐため、コードを抜いてください。

■“P-MD”が点滅したら
ボタン操作がない状態で約4分以上放置されているため、MDネットワークが休止状態になっています。
ネットワーク機能を使うときは、もう一度［SELECTOR］を押してください。

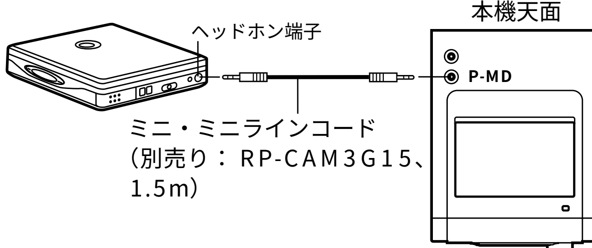
■動作中（TOC読み込みなど）に“P-MD ERROR”と表示したら
MDネットワークに異常があります。
ポータブルMDプレーヤーの電池残量や、コードの接続を確認して、もう一度［SELECTOR］を押してください。

お知らせ
- MDネットワーク対応のMDステレオシステムどうしをつないでも、この機能は働きません。
- 市販の演奏用MDから録音する場合、タイトルはコピーされません。
- ディスクタイトルが付いているMDに録音した場合は、ディスクタイトルはコピーされません。
- MDネットワーク機能は、タイマーと組み合わせて使うことはできません。

別売り機器を使う

別売り品の品番は、2000年6月現在のものです。品番は変更されることがあります。

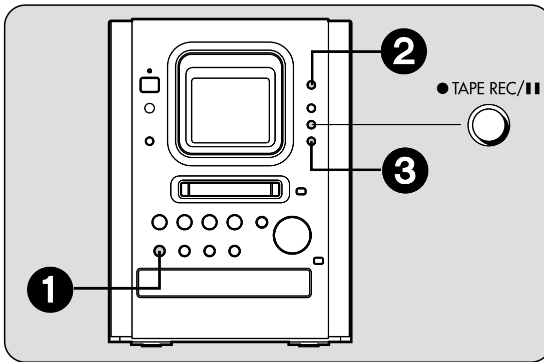
ポータブルMDプレーヤーから本機のMD・テープに録音



音がひずむ場合は、ポータブルMDプレーヤーの音量を調節してください。

MDネットワーク対応のポータブルMDプレーヤーの場合は、44・45ページの方法で接続すると簡単に録音できます。

準備： MDを入れる。



❶ SELECTOR 押して、“P-MD”を選ぶ

❷ EDIT MODE –SP/LP 押して、録音モード（下記参照）を選ぶ

❸ ● MD REC/❚❚ –HIGH SPEED CD→MD 押す

“MANUAL（マニュアル）”選択時は、録音が始まります。

❹ ポータブルMDプレーヤーの演奏を始める

“SYNCHRO（シンクロ）”選択時は、演奏と同時に録音開始。

録音モード

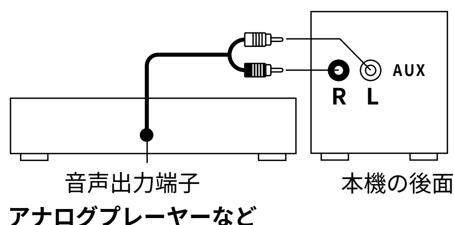
ポータブルMDプレーヤーの場合は、以下の録音モードのみ選べます。

- MANUAL（マニュアル）：通常の録音モード
- SYNCHRO（シンクロ）：接続した機器の演奏が始まると、自動的に録音も始まるモード
  無音の状態が約3秒続くと録音が一時停止し、演奏が再開すると録音も再開します。
  録音開始位置に、自動的にトラックマークが付きます。

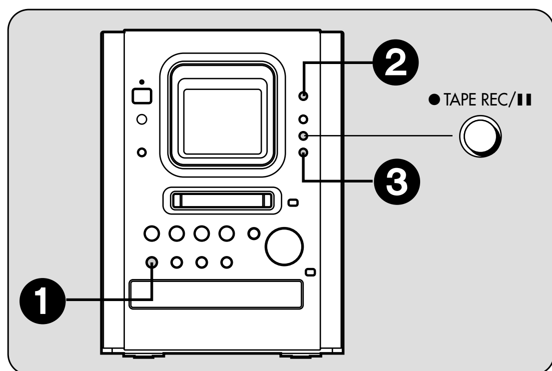
■本機のカセットテープに録音するには

① ［SELECTOR］を押して“P-MD”を選ぶ。
② リモコンでリバースモードを選ぶ。
③ ［● TAPE REC/❚❚］を押す。
④ ソースの演奏を始める。

アナログプレーヤー・テレビ・有線放送・ CS/BS チューナーを本機で再生／ MD ・テープに録音（アナログ接続）



準備：
テレビ、有線放送、CS/BS チューナーの場合は好みの放送局を受信する。



■アナログプレーヤーを接続するには
フォノイコライザー内蔵のプレーヤーが必要です。

推奨品：当社のアナログプレーヤー SL-J8（フォノイコライザー内蔵）

お手持ちのアナログプレーヤーがフォノイコライザー内蔵でないときは、フォノイコライザー（サービスルート扱い：品番 RFKZ0088KIT）が必要です。
そのままつなぐと音が小さくなります。

再生する場合は、手順❷❸は不要です。

❶ SELECTOR **押して、“ AUX ”を選ぶ**

❷ EDIT MODE –SP/LP **押して、録音モードを選ぶ**

❸ ● MD REC/▮▮ –HIGH SPEED CD→MD **押す**

TURN BACK（ターンバック）・TURN/TIME（ターンタイム）選択時は“ TURN BACK（ターンバック）”の表示が点滅→点灯に変わったあと、もう一度[● MD REC/▮▮]を押す。

❹ **ソースの演奏を始める**
“ SYNCHRO（シンクロ）”選択時は、再生と同時に録音開始。

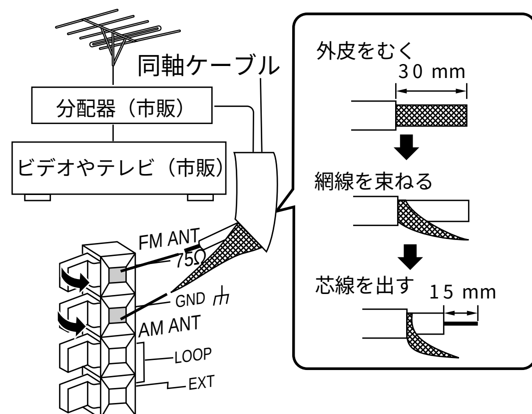
■本機のカセットテープに録音するには
① ［SELECTOR］を押して“ AUX ”を選ぶ。
② リモコンでリバースモードを選ぶ。
③ ［● TAPE REC/▮▮］を押す。
④ ソースの演奏を始める。

屋外アンテナの接続

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは必要です。

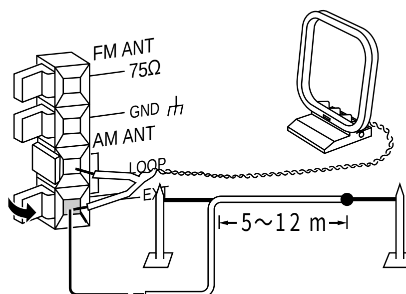
FM（テレビアンテナの利用）

付属の FM 簡易型アンテナは取りはずします。

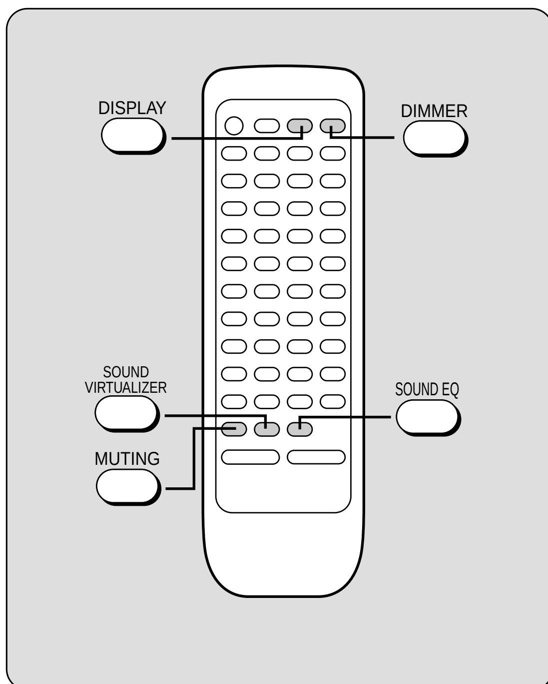


AM（市販のビニール線）

付属の AM ループアンテナは取りはずさないで、いっしょにつないでおきます。
窓際などに、水平に設置します。



音質／音場、便利な機能を使う



好みの音質を楽しむ（イコライザー）

4 種類の音質が選べます。

SOUND EQ **押す**　EQ > Heavy

押すたびに
Heavy　：ロックなど、パンチを効かせるとき
Clear　：ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
Soft　： BGM として聞くとき
Vocal　：ボーカルにつやを出したいとき
OFF　：音響効果を使わないとき
と切り換わります。

音に臨場感を与える（サウンドバーチャライザー）

中音部（ボーカルなど）を安定させたまま、音に自然な広がりと奥行きを与えます。

SOUND VIRTUALIZER **押す**　Sound Virtualizer

解除するには、もう一度押す。
- ステレオ音声に効果があります。
- ヘッドホンで聞くときは、スピーカーで聞くより効果が少なく聞こえます。

お知らせ

FM ステレオ放送を聴いていて雑音が多いときは、解除してください。

表示パネルの明るさを変える（ディマー）

表示パネルとボタンランプが少し暗くなります。就寝時など、暗い部屋でパネルの明るさが気になるときに使います。

DIMMER **押す**

解除するには、もう一度押す。
（電源を切っても解除されます）

一時的に消音する（ミューティング）

電話がかかってきたときなどに便利です。

MUTING **押す**　MUTING

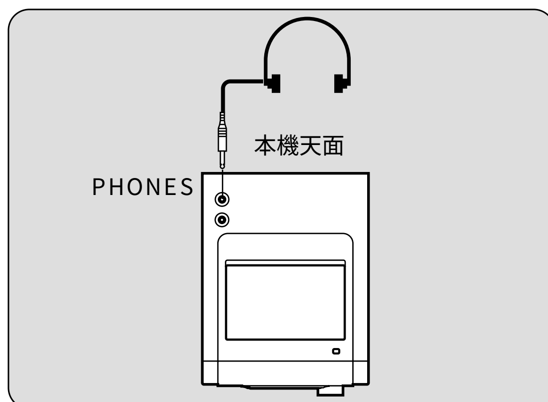
解除するには、もう一度押して“ MUTING ”を消す。
または
［VOLUME］を左に回して、“ ーー dB ”を表示させる。
（電源を切っても解除されます）

表示を切り換える

本機の状態（再生・停止・録音）やソース（音源）によって表示する内容は異なります。
- MD のタイトル（13 文字以上）が停止して表示中に押すと、右から左へスクロールします。

DISPLAY 好みの表示になるまで **ポンポンと押す**
（例： MD の残り時間）　MD Rem 30:46

ヘッドホン（別売り）で聞く



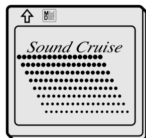
- 接続するときは、音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音で長時間聞くことは、避けてください。
- プラグタイプ：　ステレオミニ（M3）
- 推奨品：　RP-HT400、RP-HT242（ともに別売り）

MD について

MD の種類

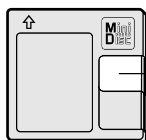
■演奏専用 MD（録音できません）

ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。この方式の MD を「光ディスク」といいます。



■録音用 MD

磁気によってデータを記録します。この方式の MD を「光磁気ディスク」といいます。



MD の録音・編集について

■テープとは違います

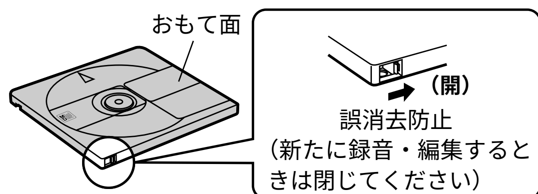
録音済みの MD は、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。ディスクがいっぱいになったときは、イレース（消去機能）で、いらない曲を消してから録音します。（上書き録音はできません）

■MD1 枚への録音曲数は、収録時間内で最大 254 曲までです

ただし、MD は 2 秒以下の音声を録音する場合にも約 2 秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

■大切な録音を消さないために

誤消去防止つまみを、穴が開く方向にずらします。



■MD の録音方式

- **本機の CD の録音**
  デジタル信号をそのままでデジタルで録音します。ただし、この録音には SCMS という制限があります。（右上参照）
- **本機のラジオ、テープや別売りのアナログ機器（アナログプレーヤーなど）の録音**
  アナログ信号をデジタル信号に変換して録音します。
- **別売りのデジタル機器をアナログ接続（➪47 ページ）したときの録音**
  別売り機器からのアナログ信号をデジタル信号に変換して録音します。

■デジタル録音の制限について（SCMS）

デジタル録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
本機で CD から MD へ録音すると、信号劣化の少ないクリアなデジタル録音が行えます。そこで、著作権保護のため、この MD からさらに別の MD へはデジタル録音できないようになっています。
なおアナログ録音にはこのようなしくみはありません。

■録音・編集・タイトル入力時のお願い

録音や編集、タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。" UTOC "の点灯中または" UTOC Writing "の点滅中に電源が切れたり、振動があると、録音・編集・タイトル入力が MD に正しく記録されません。

よく出てくる MD 用語

■トラックマーク

録音部分に記録される「区切り」のことです。
ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、5 分ごとに付けたりすることもできます。

■TOC（トック）（Table of Contents）

MD には、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や演奏時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容を TOC 情報といいます。

■UTOC（ユートック）（User Table of Contents）

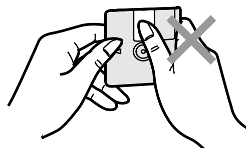
自分で自由に書き換えられる TOC です。
入力した文字や、編集した結果などを記録します。
MD に UTOC が書き込まれているときは、" UTOC Writing " と表示され、注意を促します。

■MARKING（マーキング）

録音中にトラックマークを記録することです。
本機が曲の変わり目を判断してマーキングします。

取扱上のお願い

- 指定外の位置にラベルを貼らない
  （また、ラベルやテープののりがはみ出したり、はがしたあとのある MD は、故障の原因になりますので、使用しないでください）
- シャッターを開かない
  （万一開いてしまったときは、すぐ閉じてください。中の円盤には直接手を触れないでください。）

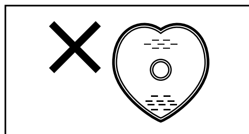


CD について

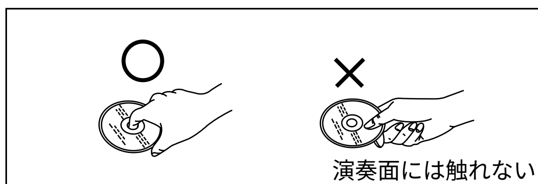


このマークが入ったものをご使用ください。

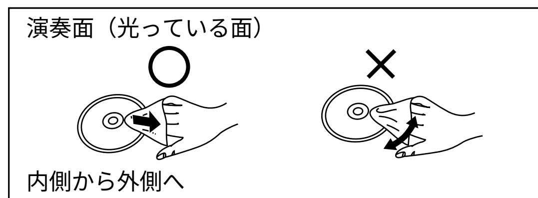
ただし、ハート型など、特殊形状の CD は使わないでください。（機器の故障の原因になります）



■持ちかた



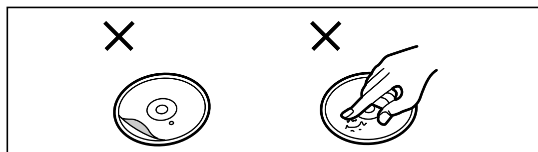
■汚れたときは
水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。



■露が付いたら
急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のお願い

CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 傷つき防止用のプロテクターなど当社指定外の市販品は使わない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない



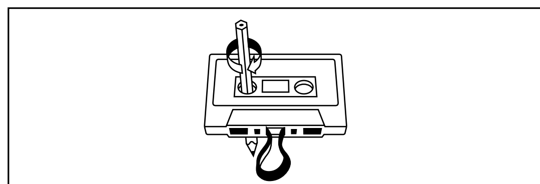
- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷した CD は使わない

テープについて

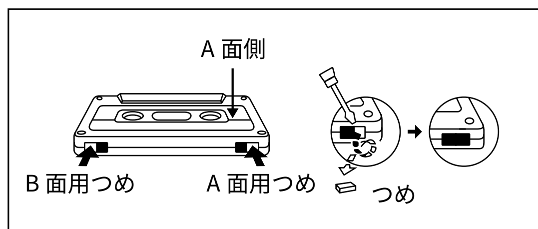
■100 分を超えるテープ
テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。（回転部に巻き込まれることがあります）

■エンドレステープはオートリバース対応のものを
使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ずテープについている使用説明をお読みください。

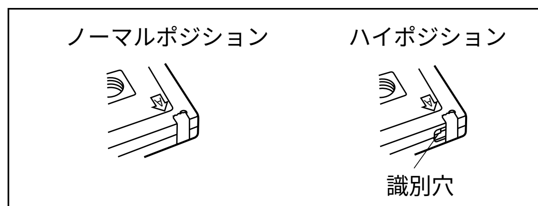
■テープのたるみは巻き取ってください
テープに傷がついたり､切れたりする原因になります。



■録音したテープを誤って消さないために
ドライバーなどで、つめを折り取ってください。



もう一度録音するには
セロハンテープなどを貼ってください。



ハイポジションテープの種類識別穴はふさがないでください。

■録音を消して無音テープを作るには
① ［◄ ►、TAPE］を押して、“ TAPE ” を選び、［■、STOP］を押す。
② テープを入れる。
③ リモコンのリバースモードを選ぶ。
④ ［● TAPE REC/❚❚］を押す。

保管(MD・CD・テープ)

次のような場所に置かない
- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

お手入れ

■本体が汚れたら
柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、あとは空ぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■MD・CDをよい音でお楽しみいただくために
別売りの専用クリーナーなどで、定期的に清掃されることをおすすめします。
MDレンズクリーナー（別売り：RP-CL310）
MD録音ヘッドクリーナー（別売り：RP-CL320）
CDレンズクリーナー（別売り：RP-CL510）

■テープをよい音でお楽しみいただくために
定期的に市販のクリーニングテープを使って、清掃されることをおすすめします。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問合せ先：（社）私的録音補償金管理協会
☎03-5353-0336

- 放送やレコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したMDやテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本　部	(03)3502－6551	中部支部	(052)583－7590
北海道支部	(011)221－5088	北陸支部	(0762)21－3602
盛岡支部	(0196)52－3201	京都支部	(075)251－0134
仙台支部	(022)264－2266	大阪支部	(06)6244－0351
大宮支部	(048)643－5461	大阪北支部	(06)6244－7077
東京支部	(03)3562－4455	神戸支部	(078)322－0561
西東京支部	(03)3232－8301	中国支部	(082)249－6362
東京イベント・コンサート支部	(03)5286－1671	四国支部	(0878)21－9191
立川支部	(0425)29－1500	九州支部	(092)441－2285
横浜支部	(045)662－6551	鹿児島支部	(0992)24－6211
静岡支部	(054)254－2621	那覇支部	(098)863－1228

Q ＆ A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	手持ちのアナログプレーヤーをつなぎたい	現在、アンプの「フォノ」または「プレーヤー」端子に接続している場合は、市販のフォノイコライザー（サービスルート扱い：品番 RFKZ0088KIT）が必要です。そのまま接続すると、音が小さくなります。	47
	テレビをつなぎたい	後面の「AUX」端子に接続します。 音声のみ本機でお楽しみいただけます。	47
	有線放送をつなぎたい	後面の「AUX」端子に接続します。	47
	他のスピーカーをつなぎたい	付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。	
MDへの録音	MD ネットワーク対応している機器は？	MD NETWORK カタログにこのマークの付いている製品が対応しています。	44
	MD で長時間録音（モノラル）する方法は?	MD 以外のモードで“ LP MODE ”と表示するまで、[EDIT MODE、 − SP/LP] を押し続けます。 あとは、通常の録音操作をしてください。	21
	録音用 MD の残り時間を知りたい	[DISPLAY] をポンポンと押して、残り時間表示にしてください。	21
	録音済み MD に上書き録音したい	MD は、テープと異なり、上書き録音はできません。 MD の残り時間が少ないときは、いらない曲をイレースで消してから録音してください。	
	録音済み MD の続きに録音したい	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。頭出しは不要です。	
	録音中に音量や音質を変えたらどうなる?	録音レベルは一定です。 録音中に音量や音質を調節して、スピーカーからの音を変えても、録音される音には影響しません。	21
その他	メタルテープに録音すると、どうなる？	本機では、正しく録音・消去できません。 前回の録音が、完全に消えないことがあります。ただし、使用しても、機器への支障はありません。	
	引っ越しするのだが、そのまま使える?	東日本・西日本に関係なく使えます。	

こんな表示が出たら

表　示	意　味	処　置
BLANK DISC	MDに1曲も録音されていません。	録音にはそのまま使えます。
CAN 'T COMBINE	コンバインできません。	MDのシステム上の制約です。
CAN 'T DIVIDE	ディバイドできません。	MDのシステム上の制約です。
CAN 'T EDIT	他の機器で101文字以上のタイトルをつけたMDを、本機でタイトル編集しようとしました。	タイトル編集できません。 編集した機器で文字数の少ないタイトルに付け直してください。
CD NO DISC	CDが入ってません。	CDを入れてください。
DISC ERROR	MDに異常があるか、損傷しています。	MDを取り替えてください。
DISC FULL	MDの空き時間が足りません。	不要な曲を消去するか、新しい録音用MDに取り替えてください。
DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態になっています。	録音・編集するには、MDの誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。
EJECT/ERROR LOAD/ERROR	MDを出し入れしたとき異常が発生しました。 自動的に電源が切れます。	MDをいったん抜いて、電源を入れ、操作し直してください。
EMERGENCY/STOP	録音中に異常が発生しました。	MDを入れ直し、もう一度操作し直してください。
ERROR	操作が違います。	取扱説明書にしたがって操作し直してください。
F76	内部回路に不具合が起きた可能性があります。	もう一度、電源を「入」にしてください。 それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
MD F26	MDの読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切／入したあと、MDを入れ直してください。 それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
MD NO DISC	MDが入っていません。	MDを入れてください。
NO TAPE	テープが入っていません。	テープを入れてください。
PLAYBACK DISC	演奏専用MDに録音・編集しようとしました。	録音用MDに取り替えてください。
SCMS NO COPY	ビデオCDやCD-ROMなど、MDに録音できない音源を録音しようとしました。	オーディオ用のCDに取り替えてください。
TITLE FULL	この曲にはこれ以上タイトル入力できません。	タイトルを短くしてください。
TOC Reading	CDまたはMDのTOC情報を読み込んでいます。	TOC Reading消灯後に操作してください。
TRACK NUMBER/ NOT EQUAL	曲数の違うMDへはタイトルをコピーできません。	曲数の同じMDに取り替えてください。
TRACK/PROTECTED	曲にプロテクト（保護）がかかっています。	編集・消去していいか、確認してから操作してください。
UTOC FULL	タイトルを書き込めるだけの空きがありません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。
	254曲入っているMDで曲をディバイドしようとしました。	MDのシステム上の制約です。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

	こんなときは	ここをご確認ください	処置	参照ページ
システム全体に共通	パネル表示が変化したり、ランプ点灯が次々と変わり、電源が「入」になる。	デモ機能が働いていませんか。	デモ機能を「切」にする。	10
システム全体に共通	電源が入っているのに音が出ない。	スピーカーコードを正しく接続していますか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8・9
システム全体に共通	音の位置が定まらない。	スピーカーコードの⊕、⊖を逆に接続していませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8・9
システム全体に共通	左右の音が逆になる。	スピーカーコードを左右逆に接続していませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8・9
システム全体に共通		別売り機器のコードを左右逆に接続していませんか。	別売り機器のコードを正しく接続する。	47
システム全体に共通	再生中に「ブーン」という音がする。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離す。電源コードを逆に差しかえてみる。	
システム全体に共通	片側のスピーカーから音が出ない。	スピーカーコードがはずれていませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8・9
システム全体に共通	再生中に音が出なくなった。	スピーカーコードの⊕、⊖がショートしていませんか。	電源を切り、正しく接続し直し、電源を入れる。	8・9
FM	ステレオ放送に雑音が入る。 ステレオ放送で雑音が多く時々音が出なくなる。	送信所が遠くありませんか。 アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	簡易型アンテナの場合は、テレビアンテナを利用してみる。	47
FM	“ STEREO ”が点滅する。	送信所が遠くありませんか。		
FM		テレビ、ビデオデッキ、BSチューナーなどの電源が入っていませんか。	テレビ、ビデオデッキ、BSチューナーの電源を切ってみる。	
AM	ステレオ放送の音にひずみが多い。 雑音が多い。	近くに大きなビルや、山がありませんか。	テレビアンテナを利用してみる。	47
AM		テレビやパソコンと同時に使用したり、携帯電話機の充電を近くでしていませんか。	本機と各機器との距離を離すか、各機器の電源を切る。	
AM		アンテナ線が電源コードに接近していませんか。	アンテナ線と電源コードを離す。	
テープ	音が小さい、音が途切れる。 音が良くない。 雑音が多く出る。 音がかすれたり、ふるえる。	ヘッド部が汚れていませんか。	ヘッド部を清掃する。	51
テープ	録音状態にならない。	録音用のつめを折っていませんか。	つめを折った部分にテープを貼る。	50
テレビ	画面が時々消えたり、画面にシマ模様が出る。	アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	簡易アンテナの場合は、専用アンテナに替える。テレビと本機の距離を離す。	
テレビ		テレビのアンテナ線が本機に接近していませんか。	テレビのアンテナ線を本機から離す。	
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れる。	7
リモコン		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	7

	こんなときは	ここをご確認ください	処置	参照ページ
CD	CDを入れても、表示パネルの表示が変わらない。 再生ボタンを押しても再生が始まらない。	規格外のCDを使用していませんか。	規格のCDと取り替える。	50
		寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約1時間待ってから使用する。	
	特定の個所が正常に再生しない。	CDが汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	50
	一曲しか録音できない。	1-RECモードになっています。	[EDIT MODE]を押して、1-RECモードを解除してください。	28
MD	MDを入れても、自動的に引き込まれない。 MDを入れるのに、かなりの力がいる。	排出動作中のMDに、無理な力を加えませんでしたか。	電源を入れ直す。	
	再生できない。	寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約1時間待ってから使用する。	
	録音・編集ができない。	誤消去防止状態になっていませんか。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。	49
	タイトルが入力できない。			
	MDのタイトルや曲名が出なかったり、表示が途切れたりする。	MDに記録できる文字数(英数記号で最大約1700文字。カナは約その半分)を超えていませんか。	文字数の少ないタイトルにつけ直す。	36
	MDを入れても"TOC Reading"が点滅したままで、操作ができなくなる。また、この状態で[▲、EJECT]を押しても、MDが出てこない。	MDのTOC情報読み込み中に異常が発生しました。	① **[POWER ⏻/I]** を押す。しばらくするとカチッと音がして、完全に電源が切れます。 ② 電源を入れ、すぐ **[▲、EJECT]** を押す。MDが出てきます。(出てこないときは、手順①②をくり返す) ③ MDを取り替える。 異常が再発するときは、販売店にご相談ください。	
	高速録音ができない。	録音を開始した時点から74分間待たずに同じ曲を録音しようとしませんでしたか。	74分間待ってから録音する。	29

MDの制約について

症状	原因
曲数や録音時間が最大ではないのに"UTOC FULL"が表示される。	録音時間に関係なく、曲数が最大になると、録音できなくなります。(MD1枚の最大曲数254曲)
	録音のしかたによっては、254曲以下であっても録音できないことがあります。
コンバイン/ディバイド機能が使えないことがある。	部分録音/部分消去をくり返したMDに録音すると、MD上のデータとしては分断されて記録されるため、左記のようなことが起こる場合があります。
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り/早戻しすると、音の途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MDの最大録音時間にならない。	MDは、2秒以下の音声を録音する場合でも、約2秒間の領域を使用するため、残り時間より実際に録音できる時間が少なくなります。

各部のなまえ

本体

⑩などの数字は、参照ページです。

表示部

リモコン

リモコンのボタン名称が本体と同じ場合は、ボタンの働きも同様になります。

DISPLAY（表示切換え）ボタン ⑬ ㊽

SLEEP（おやすみタイマー）ボタン ㊶

POWER⏻（電源）ボタン ⑪

CLOCK/TIMER（時計／タイマー）ボタン ⑪ ㊵

AUTO OFF ボタン ⑩

ENTER（確定）ボタン ㉝

CHARA（文字切換え）ボタン ㊲

1～0（数字）、文字入力ボタン ⑬ ㊲

◄─、─►（カーソル移動）ボタン ㊲

PROGRAM（予約演奏）、CLEAR（解除）ボタン ㉕ ㉖

TUNE MODE、ボタン ㉗

AREA ボタン ㉖

BP FM MODE ボタン ⑲ ㉛

MUTING（消音）ボタン ㊽

VOLUME（音量調整）ボタン ⑬

◴PLAY/◴REC（タイマー入／切）ボタン ㊵

DIMMER ボタン ㊽

MD EDIT（MD 編集）ボタン ㉝

CANCEL（取り消し）ボタン ㊲

TITLE（タイトル入力）ボタン ㊱

゛ ゜―、！”＃ボタン ㊲

≥10、DELETE（削除）ボタン ⑬ ㊲

SPACE（空白）ボタン ㊲

REPEAT（くり返し）ボタン ㉔

RANDOM ボタン ㉔

メイン操作部

REV MODE（テープ走行方向切換え）ボタン ⑰

SELECTOR（ファンクション切換え）ボタン ⑩

SOUND VIRTUALIZER、SOUND EQ ボタン ㊽

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は・・
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■修理を依頼されるとき

54 ～ 55 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、MD ステレオシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。（この期間は通商産業省の指導によるものです）

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料　は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代　は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料　は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

使いかた・お買い物のご相談は

ナショナル／パナソニック
お 客 様 ご 相 談 セ ン タ ー

フリーダイヤル（料金無料）  **0120-878-365**（パナは 365日）



365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
Tokyo (03) 3256 - 5444　　**Osaka** (06) 6645 - 8787

ナショナル／パナソニック

修理ご相談窓口



修理のご相談は

ナビダイヤル（全国共通番号） ☎ **0570-087-087**（パナ・パナ）

●お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
　呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
●携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。
　（ナビダイヤルはご利用頂けません）

北海道地区

地区	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎ (011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎ (0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎ (0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎ (0138)48-6631

東北地区

地区	所在地	電話
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎ (017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎ (018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎ (019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎ (022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎ (023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎ (0243)34-1301

首都圏地区

地区	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎ (028)689-2555
群馬	高崎市萩原町沖中205-18	☎ (027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎ (029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎ (0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎ (048)729-2102
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎ (043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎ (03)5450-7431
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎ (0552)22-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎ (045)840-3155
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎ (025)286-7725

中部地区

地区	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎ (076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎ (076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎ (0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎ (0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎ (054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎ (052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎ (0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎ (058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎ (0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎ (059)255-1380

近畿地区

地区	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎ (077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎ (075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎ (06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎ (0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎ (073)475-1311
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎ (078)272-6645

中国地区

地区	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎ (0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎ (0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎ (0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎ (0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎ (0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎ (086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎ (082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎ (0839)86-4050

四国地区

地区	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎ (087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎ (088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎ (088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎ (089)971-2144

九州地区

地区	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎ (092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎ (0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎ (095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎ (097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎ (0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎ (096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎ (0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎ (099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎ (0997)53-5101

沖縄地区

地区	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0600

主な仕様

アンプ部

実用最大出力（両 ch 動作）：18 W＋18 W（全高調波ひずみ率 10％、6 Ω）
　HIGH：3 W＋3 W（6 Ω）
　LOW：15 W＋15 W（6 Ω）
入力感度
　AUX：480 mV
　P-MD：160 mV
入力インピーダンス
　AUX：25 kΩ
　P-MD：5 kΩ
　HEADPHONE：16～32 Ω

FM チューナー部

受信周波数帯域：76.0～90.0 MHz（100 kHz ステップ）TV1～3ch 音声
実用感度：1.8 μV（IHF）
　S/N 比 26 dB：1.5 μV
アンテナ端子：75 Ω（不平衡型）

AM チューナー部

受信周波数帯域：522～1629 kHz（9 kHz ステップ）
実用感度（S/N 20dB）：500 μV/m

カセットデッキ部

トラック方式：4 トラック、2 チャンネル
ヘッド
　録音／再生：ソリッドパーマロイ
　消去：ダブルギャップフェライト
モーター：DC サーボモーター
録音方式：AC バイアス、100 kHz
消去方式：AC 消去、100 kHz
テープ速度：秒速 4.8 cm
総合周波数特性（－6 dB）デッキ出力
　ノーマルテープ（TYPE Ⅰ）：35 Hz～14 kHz
　ハイポジションテープ（TYPE Ⅱ）：35 Hz～14 kHz
S/N 比（TYPE Ⅰ）：50 dB（a WTD）
ワウ・フラッター：0.18％（WRMS）
早巻時間：約 120 秒（C-60）

MD デッキ部

形式：ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式：磁界変調オーバーライト方式
読取方式：半導体レーザー（λ＝780 nm）による非接触光学式
サンプリング周波数：44.1 kHz
圧縮／伸長方式：ATRAC 方式
チャンネル数：2 チャンネル、ステレオ
ワウ・フラッター：測定限界以下

CD 部

サンプリング周波数：44.1 kHz
量子化：16 ビット 直線
光源：半導体レーザー
波長：780 nm
チャンネル数：2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター：測定限界以下
デジタルフィルター：8 fs
DA コンバーター：MASH（1 ビット DAC）
S/N 比（SP OUT）：70 dB（JIS A）

本体総合

電源：AC100 V　50/60 Hz
消費電力：53 W
　電源オフ時の消費電力：0.45 W
寸法（幅×高さ×奥行）：180 × 242 × 287 ㎜
質量：約 4.8 kg

スピーカー部（SB-PM35）

型式：2 ウェイスピーカーシステム
使用スピーカー
　フルレンジ：8 ㎝コーンタイプ
　スーパーウーハー：10 ㎝コーンタイプ
インピーダンス
　HIGH：6 Ω
　LOW：6 Ω
許容入力
　HIGH：10 W（Music）
　LOW：35 W（Music）
出力音圧レベル：86 dB/W（1.0 m）
クロスオーバー周波数：110 Hz
再生周波数帯域
　：75 Hz～22 kHz（－10 dB）
　：55 Hz～25 kHz（－16 dB）
寸法（幅×高さ×奥行）：128 × 240 × 211 ㎜
質量：約 2.3 kg

注）1　この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
　　2　全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

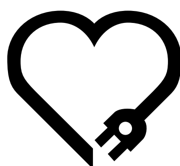
音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

愛情点検　長年ご使用の MD ステレオシステムの点検を！



こんな症状はありませんか

・煙が出たり、異常なにおいや音がする
・音が出ないことがある
・正常に動作しないことがある
・商品に破損した部分がある
・その他の異常や故障がある



このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎（　　）　－	お買い上げ日	年　月　日
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－	品番	SC-PM35MD

松下電器産業株式会社　デジタル AV ネットワーク事業部
〒571-8505　大阪府門真市松生町 1 番 4 号

RQT5597-S
F0700HT0